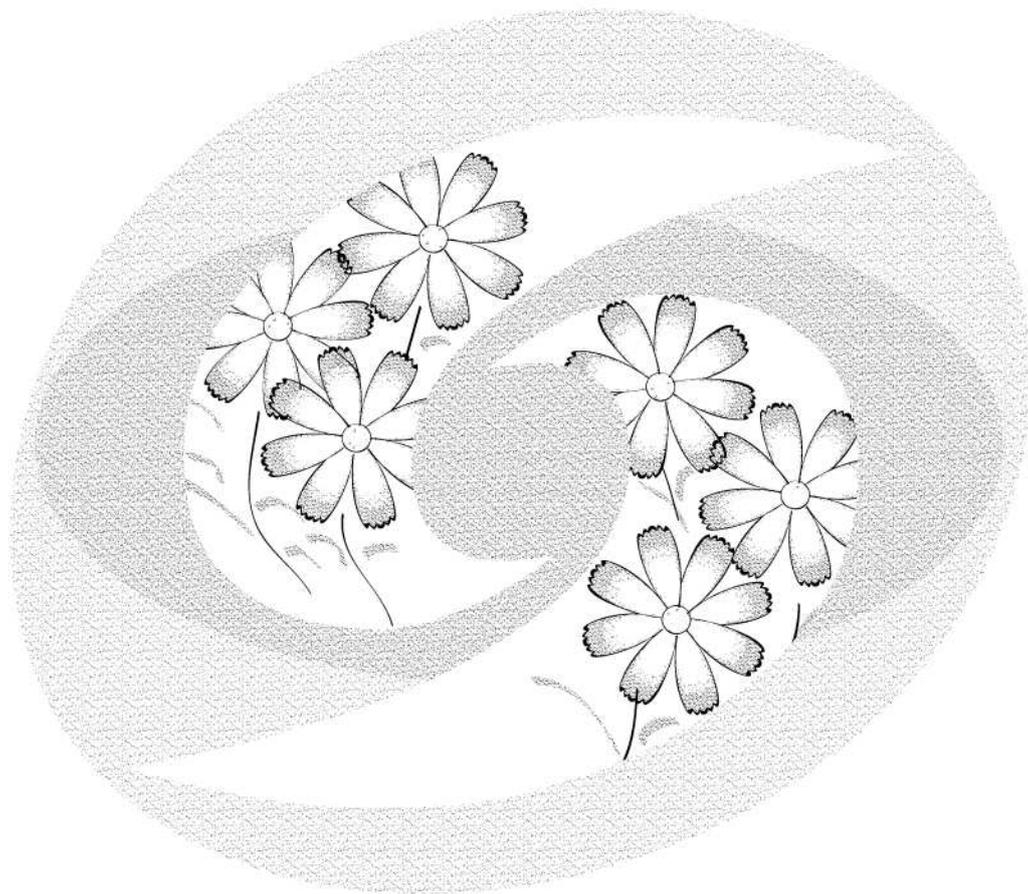


さぬき市環境基本計画

2009 ~ 2014

「自立する都市」

人いきいき 親自然・真健康・新創造



平成21年3月

さぬき市環境基本計画 目次

第1章	はじめに	
1-1	計画の目的	1
1-2	計画の位置づけ	2
1-3	期間	2
1-4	対象とする環境の範囲	2
第2章	さぬき市の概要	
2-1	地勢	3
2-2	人口と世帯数	4
2-3	土地利用	5
2-4	産業	6
2-5	交通	7
2-6	上水道と下水道	9
	(1) 上水道	9
	(2) 下水道	10
第3章	さぬき市の環境	
3-1	生活環境	11
	(1) 大気	11
	(2) 水	13
	(3) 騒音・振動・土壌・悪臭	15
3-2	自然環境	17
	(1) 自然	17
	(2) 動物と植物	19
3-3	その他の環境	21
	(1) 快適環境	21
	(2) 資源・廃棄物	23
	(3) 市民の取り組み	25
	(4) 地域の取り組み	27
	(5) 環境情報・環境教育など	29
	(6) 地球環境	31
3-4	さぬき市の環境の問題と課題	33

第4章 さぬき市の目指す環境	35
第5章 目標の実現に向けて ～施策と配慮指針～	
5-1 市民・事業者の配慮指針と市の施策	37
5-2 地域の課題に向けて	43
第6章 効果的な計画の推進に向けて	
6-1 計画の推進体制	45
(1) 市民と事業者と市の基本的な役割	45
(2) 推進体制	45
6-2 計画の進行管理	46
(1) 進行管理の方法	46
(2) 評価の指標	46

第1章 はじめに

1-1 計画の目的

さぬき市は、多島美を誇る瀬戸内海とそれを見下ろす讃岐山脈の裾野に広がる田園地帯など、四季折々の実りに恵まれた自然環境を有しています。さぬき市民は、豊かな自然、瀬戸内の穏やかな風土にはぐくまれ、それらによって培われた歴史的・文化的環境を祖先から受け継いできました。

このような環境を私たちの世代で終わらせることなく、次の世代に引き継いでいくためには、これまでの大量生産・大量消費の社会システムを見直し、自然をはぐくみ、環境保全型のまちを創り出すとともに、持続可能な社会への展望を見いだしていかななくてはなりません。

さぬき市環境基本計画は、良好で快適な環境を確保するとともに、環境への負荷の少ないさぬき市を創りあげていくために、施策の総合的、計画的な推進に向けて環境の保全と創造に関する基本的な計画を定めることを目的としています。



1-2 計画の位置づけ

本計画は、さぬき市環境基本条例第8条に基づき策定するものです。

本計画を、さぬき市総合計画の環境分野における下位計画として位置づけます。

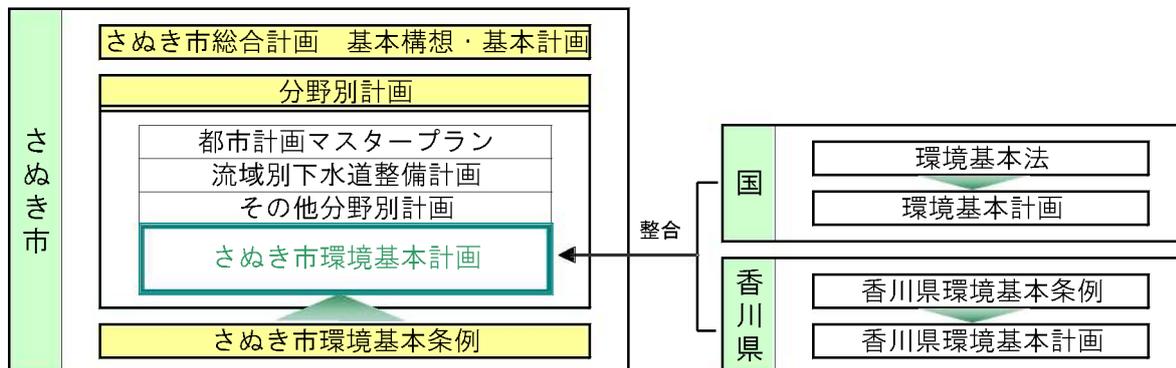


図1-1 さぬき市環境基本計画の位置づけ

1-3 期間

本計画の期間は、上位計画にあたる総合計画の期間を踏襲し、2009年度(平成21年度)から2014年度(平成26年度)までの6ヵ年とします。

ただし、総合計画の変更や見直しがある場合など、必要な場合は見直しを図るものとします。



図1-2 さぬき市環境基本計画の期間

1-4 対象とする環境の範囲

本計画で対象とする環境の範囲は、以下の5区分とします。

表1-1 さぬき市環境基本計画で対象とする環境の範囲

項目	区分	
生活環境	1	大気環境(騒音・振動含む)・水環境・その他(土壌・悪臭など)
自然環境	2	動物・植物・里地里山
その他	3	快適環境(公園・水辺など)
	4	資源・廃棄物(エネルギー・資源の循環的利用・廃棄物)
	5	その他(地域の取り組み・環境情報・環境教育・地球環境問題など)

第2章 さぬき市の概要

2-1 地勢

さぬき市の地勢は、北部の海岸部、中央部の平野部、南部の山間部に分けられます。

さぬき市の北部は、瀬戸内海に面し、小さな岬・半島の岩やれきの海岸と、砂浜が交互に織りなした海岸線です。浜堤の上には津田・志度の町並みが古くから形成され、港町として栄えてきました。白砂青松の津田海岸は瀬戸内海国立公園で、「日本の渚百選」の一つに選ばれています。また、志度湾の海岸は埋め立てられ、市街地や工業団地となっています。

中央部は、西方の高松平野と連なった平野が広がっており、大小のため池が美しい田園景観を形成しています。

南部は、自然豊かな讃岐山脈の山間部です。

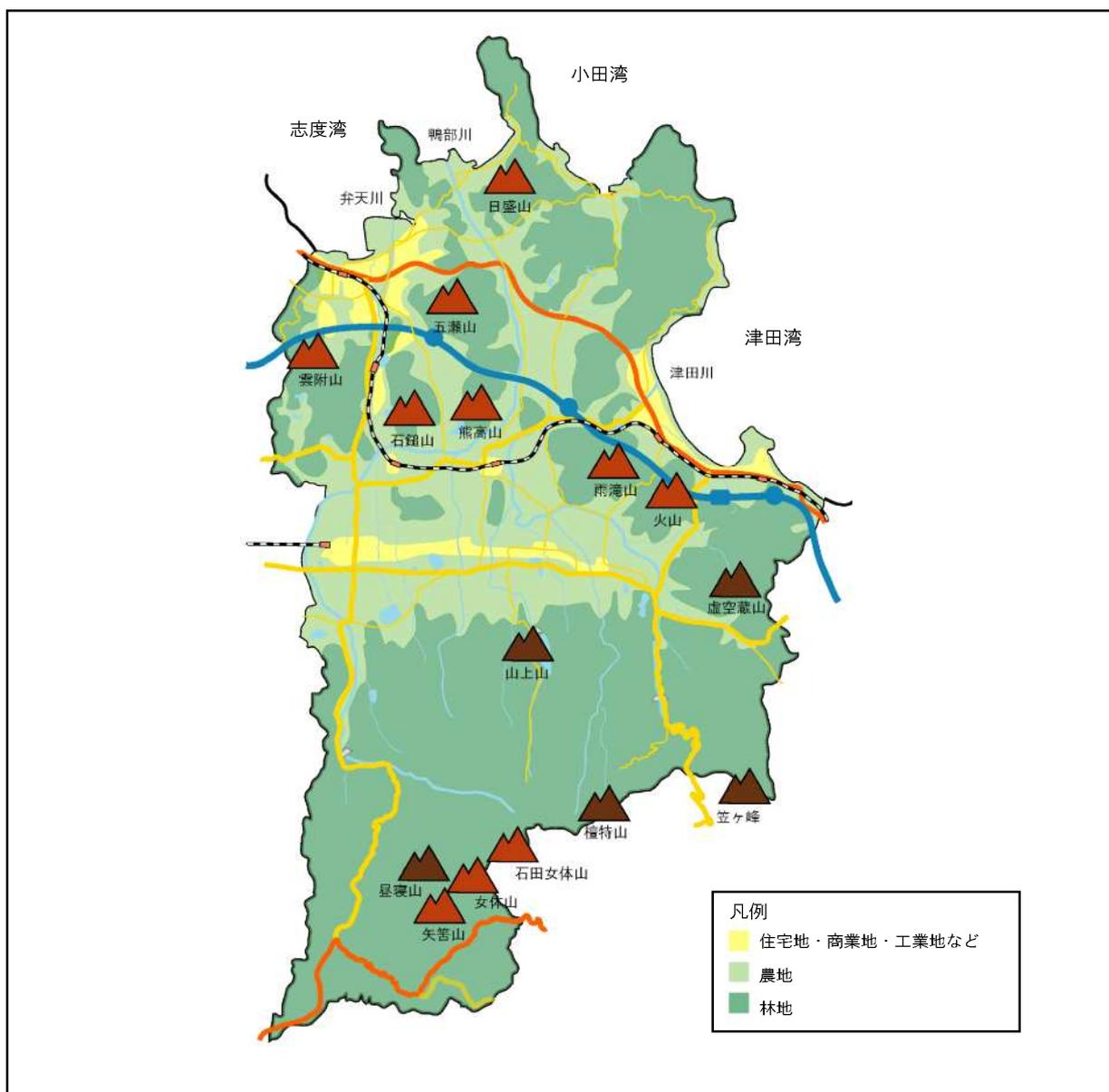


図 2-1 H17年国勢調査 人口集中地区

※ 出典：さぬき市都市計画マスタープラン・H17年国勢調査・さぬき市観光協会HP

2-2 人口と世帯数

さぬき市の総人口は平成7年以降減少傾向にありますが、世帯数は増加しています。2005年(平成17年)国勢調査では、総人口が55,754人、世帯数が20,046世帯で、1世帯当たり人員は2.78人となり、年々核家族化が進んでいます。

年齢別割合では、香川県、全国と比較すると15歳未満の人口割合が小さく、65歳以上の割合が大きい少子高齢化の傾向があります。

また平成17年国勢調査で、志度駅から志度I.C.周辺の人口密度が高い地域が人口集中地区[※]に設定されています。

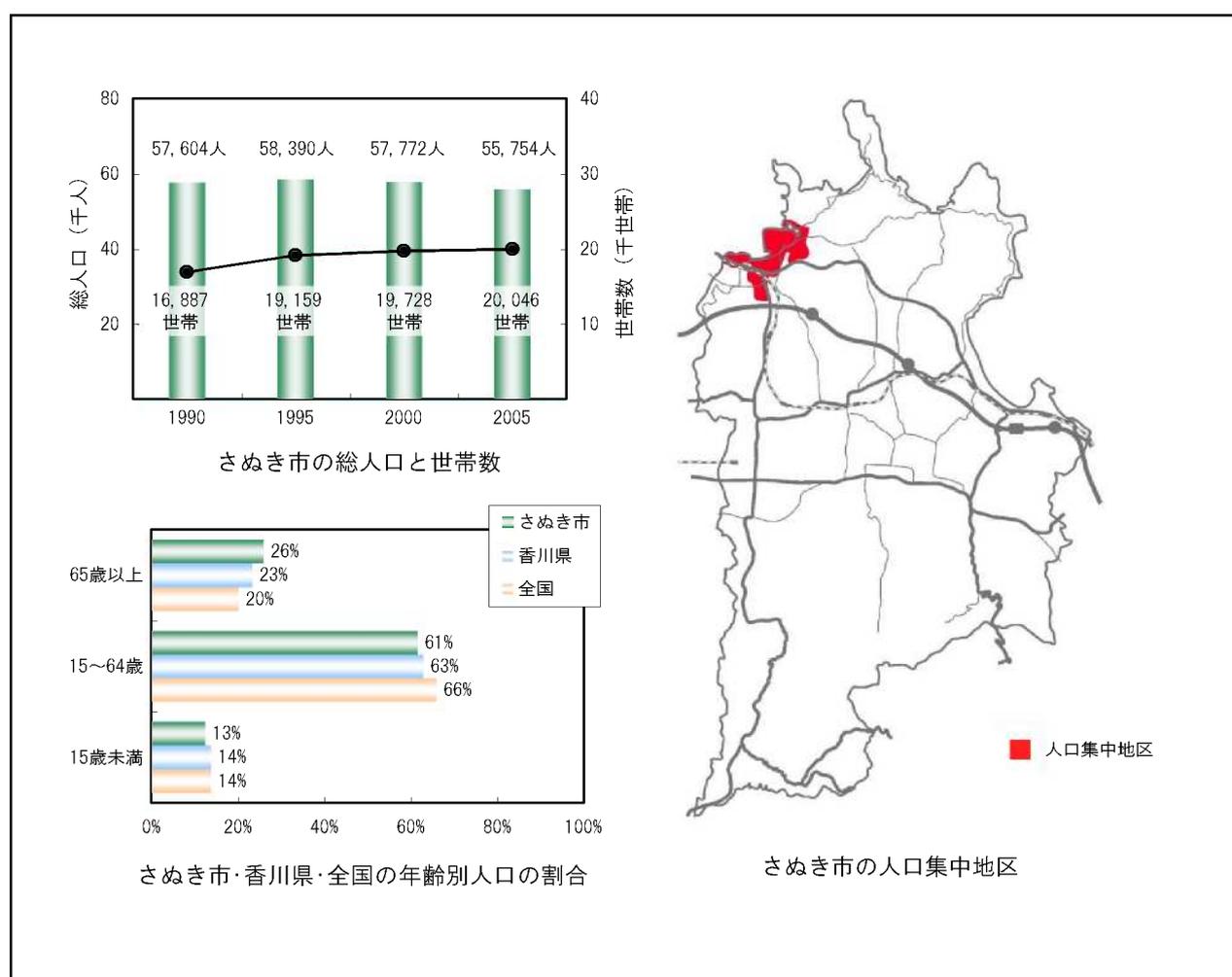


図 2-2 さぬき市の人口と世帯数の状況

※ 出典：H2、H7、H12、H17年国勢調査

WORD

※ 人口集中地区：人口密度が4千人/km²以上の調査区(基本単位区等)が隣接し、合計人口が5千人以上の地域に設定される。

2-3 土地利用

さぬき市は、志度駅、讃岐津田駅、中央部を横断する(主)高松長尾大内線周辺の3地域に市街地が広がっています。また、各地域は河川沿いの田園地域、山林等で隔てられています。

さぬき市の土地利用の方針は、現状を踏まえて志度駅と讃岐津田駅、主要地方道沿いに商業・流通・工業の拠点、その周辺に住宅地、平野部と鴨部川、津田川沿いに田園を整備することとしています(都市計画マスタープラン)。

(主)：主要地方道



図2-3 さぬき市の土地利用の方針

※ 出典：さぬき市総合計画基本構想・さぬき市都市計画マスタープラン(主要用途の配置方針図)

2-4 産業

さぬき市では第一次産業と第二次産業の就業者が年々減少し、第三次産業の就業者が増加していますが、香川県、全国と比較すると第一次産業と第二次産業の割合は多いです。

第一次産業の業種別に見ると、農業、漁業、林業の全ての就業者が減少しており、とくに林業は14名で、非常に少なくなってきました。

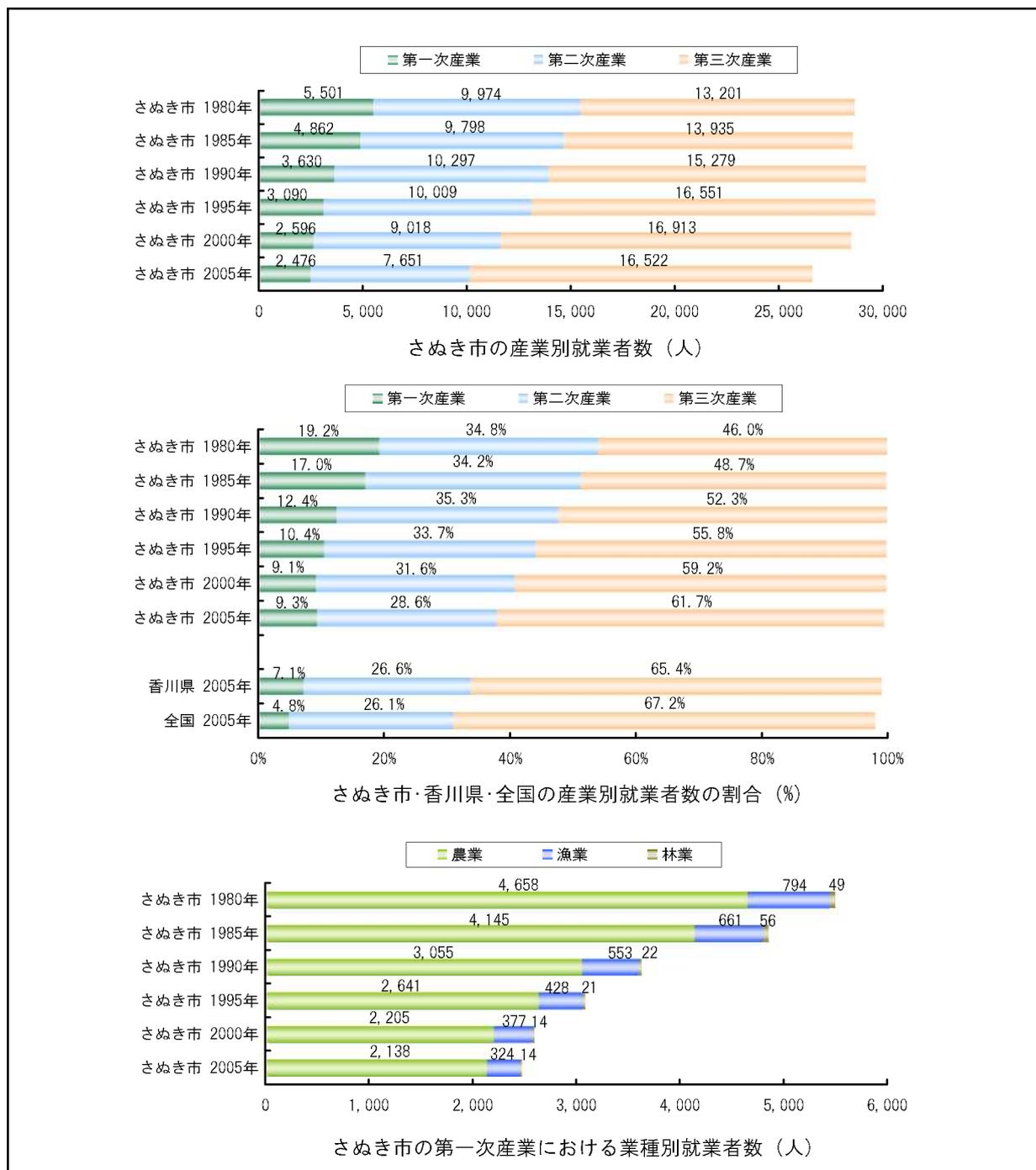


図 2-4 産業別就業者数割合(2005年)

※ 出典：さぬき市市勢要覧2005・さぬき市都市計画マスタープラン・H17年国勢調査

2-5 交通

さぬき市の交通網は東西方向に高松自動車道、国道11号、(主)三木津田線、JR高徳線、南北方向に(主)志度山川線、(主)津田川島線が通っています。高松からは、長尾と志度に高松琴平電気鉄道で繋がっています。

また、交通におけるさぬき市の取り組みとして、公共交通機関の利用促進に向けたパーク・アンド・ライド駐車場*の設置(さぬき市庁舎東)、コミュニティバスの運行などを行っています。

さぬき市総合計画では、コミュニティバスの利用者数について具体的な目標値を定めています。

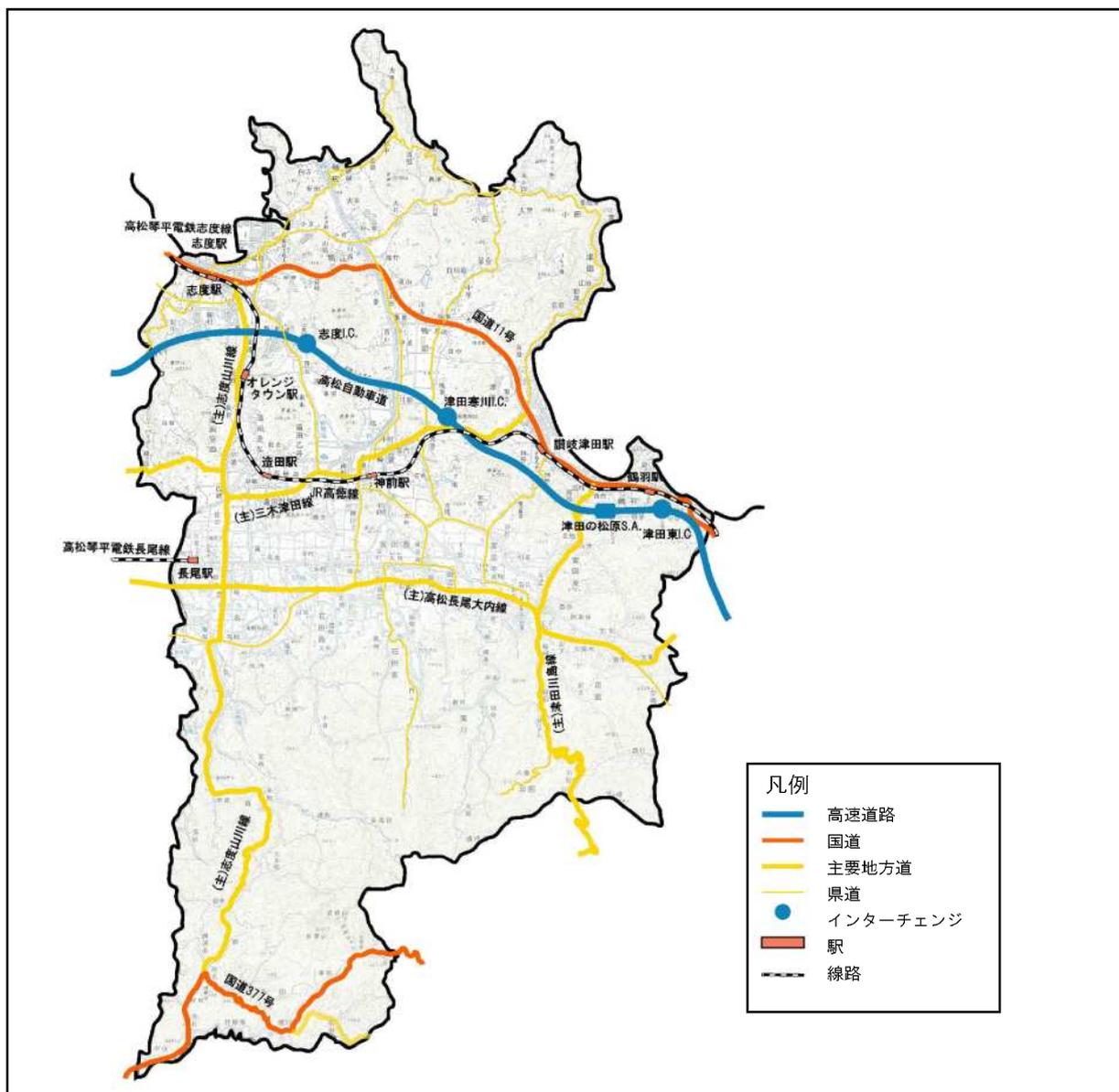


図2-5 さぬき市の主要な交通網

※ 出典：さぬき市総合計画基本構想・さぬき市都市計画マスタープラン

WORD

※ パーク・アンド・ライド：最寄りの駅やバス停に車を駐車させて、目的地までは公共交通機関を利用するシステム。

コミュニティバス関連計画

計 画	指 標	目標数値	目 標 年 度
さぬき市総合計画	コミュニティバス年間乗車人員	172,200人	2011年度(H23)

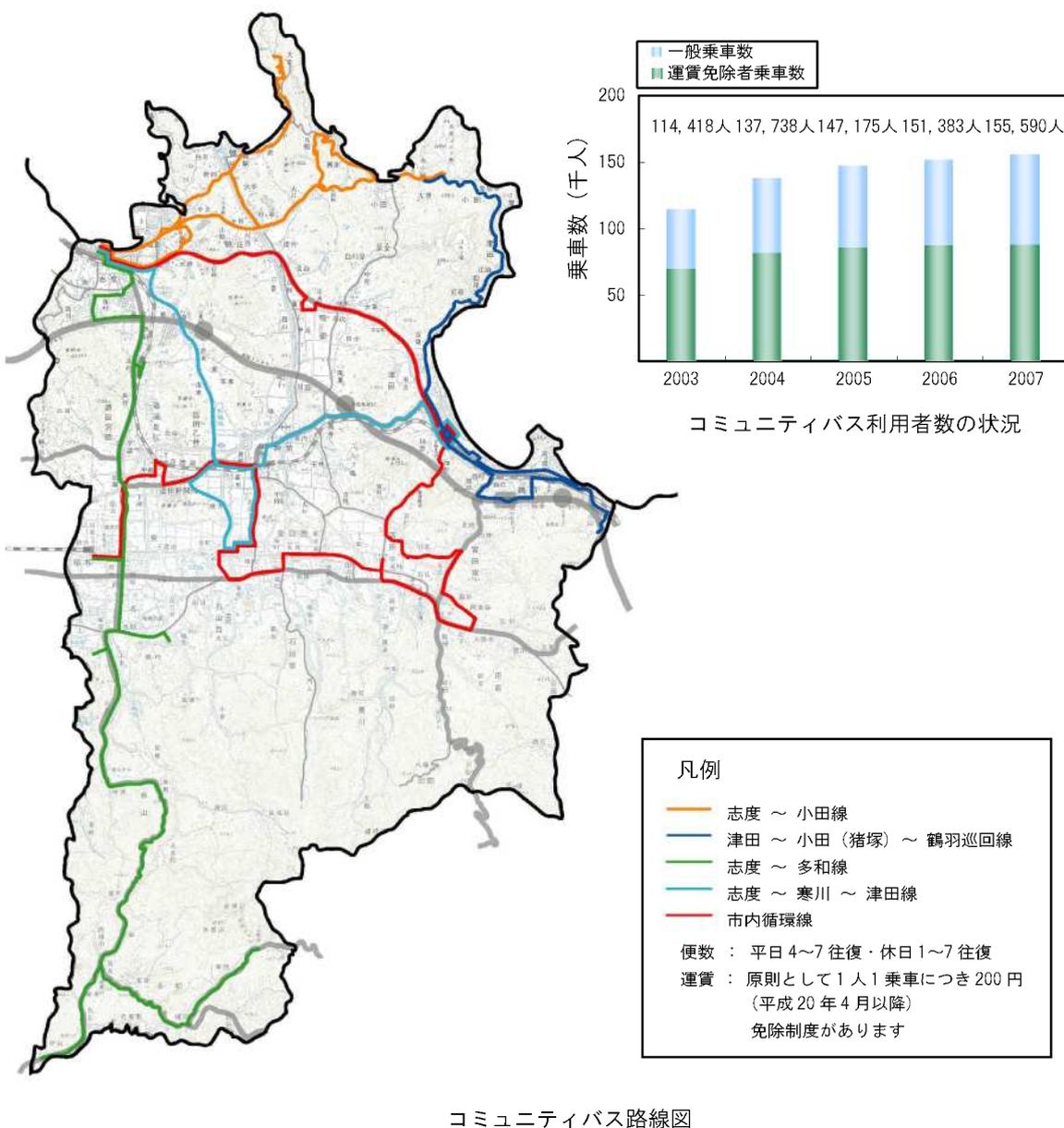


図 2-6 さぬき市コミュニティバスについて
 ※ 出典：さぬき市コミュニティバス運行条例・さぬき市HP

2-6 上水道と下水道

(1) 上水道

さぬき市の上水道、および簡易水道※では、一部の高所地区を除いてさぬき市全域と三木町の一部に給水を行っています。

水源は表流水を6,000m³/日、浅層地下水を18,175m³/日としているほか、香川県水道用水供給事業より浄水を受水(上水道と簡易水道を合わせて9,100m³/日)しています。

表流水の水源は前山ダム、石神池、門入ダムです。

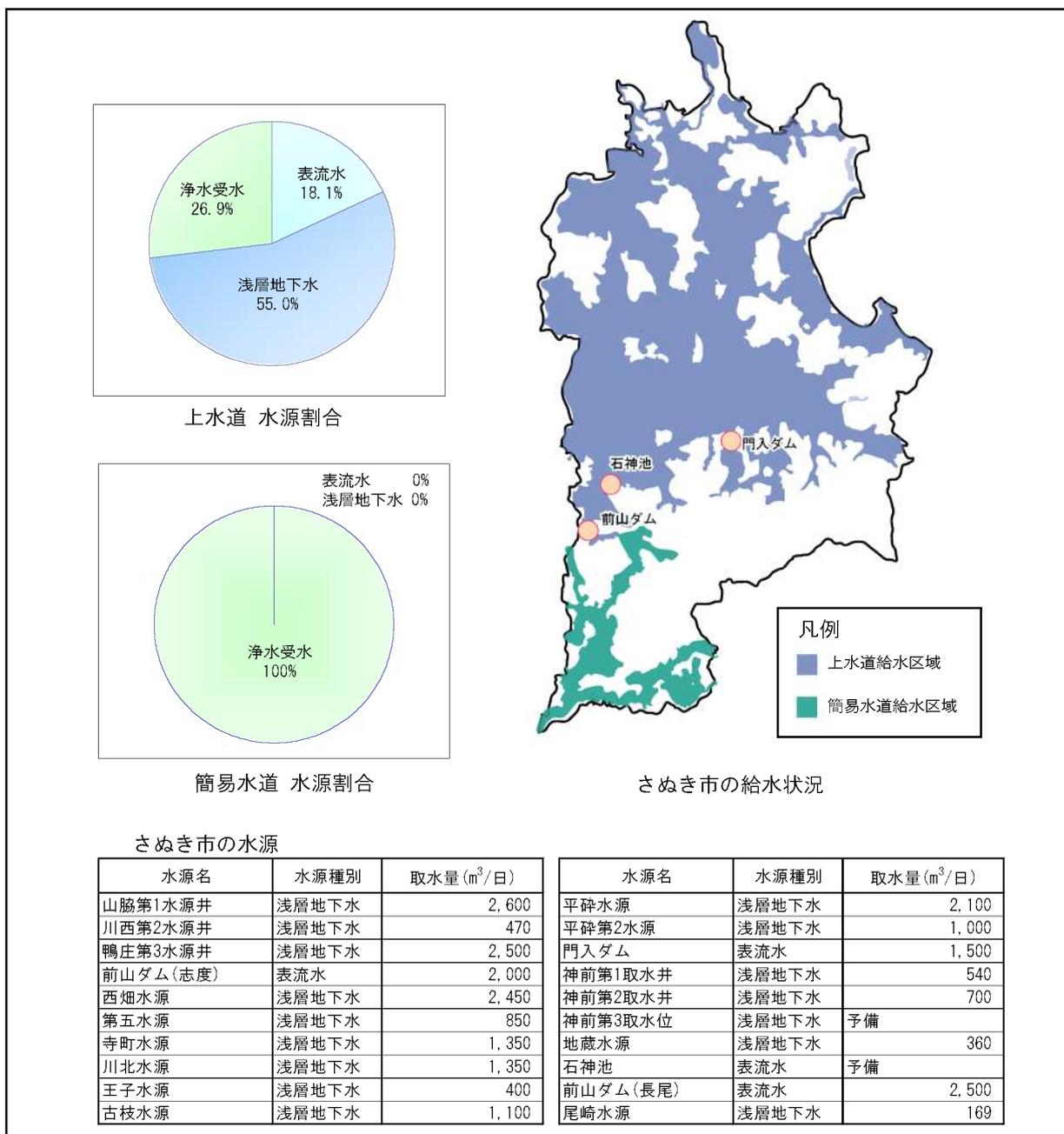


図2-7 さぬき市の上水の状況

※ 出典：さぬき市水道ビジョン

WORD

※ 簡易水道：給水人口が5千人以下である水道のこと。

(2) 下水道

さぬき市の汚水は主に下水道・集落排水・合併浄化槽により処理されています。さぬき市総合計画、都市計画マスタープラン、香川県全域生活排水処理構想で汚水処理人口普及率*などの目標値が定められており、計画的に整備を進めています。下水道の大きな課題の一つに、単独処理**から下水道や合併浄化槽への切り替え推進が挙げられます。

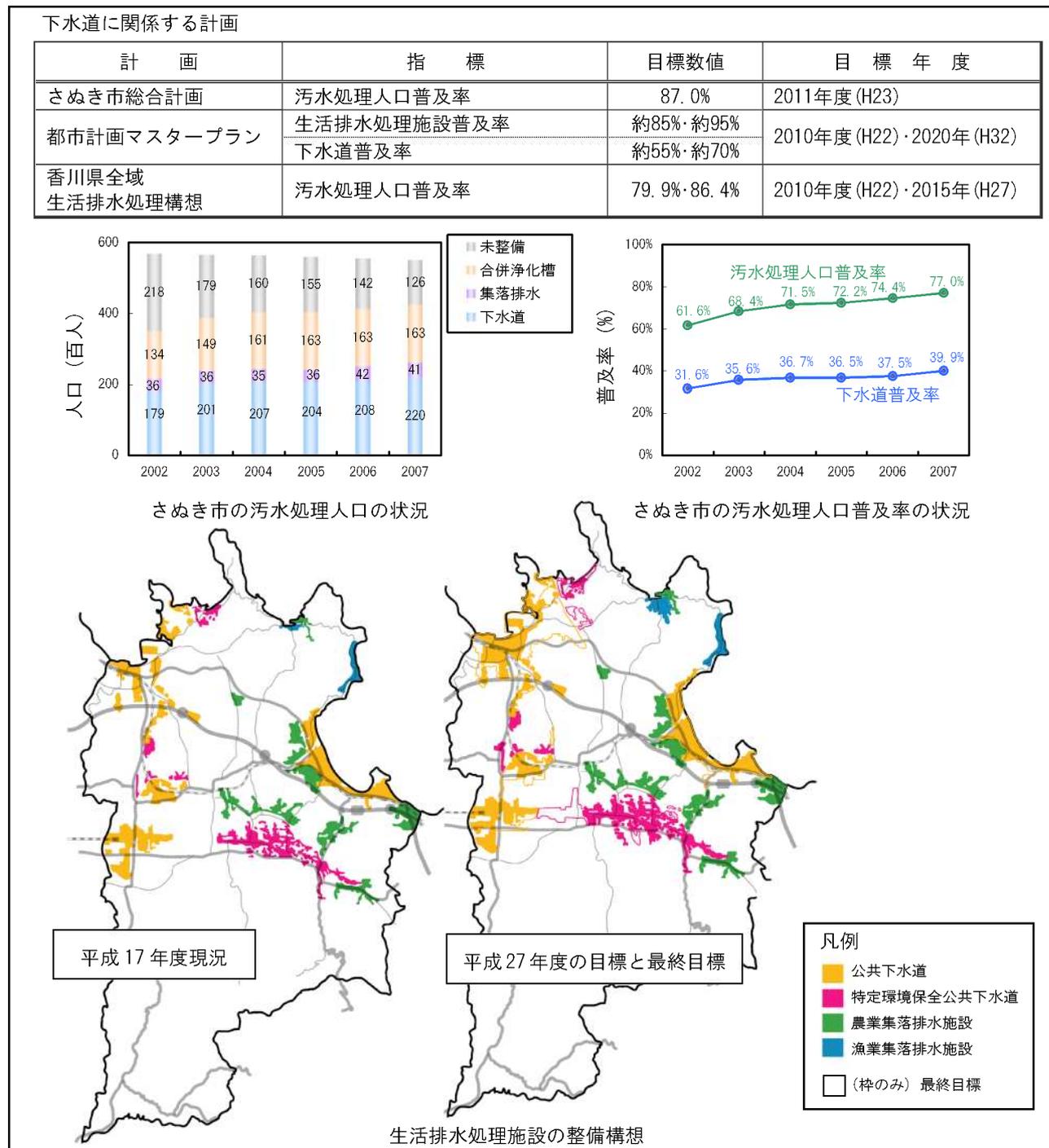


図2-8 さぬき市の下水の状況

* 出典：さぬき市総合計画基本計画・さぬき市都市計画マスタープラン・香川県全域生活排水処理構想

WORD

* 汚水処理人口普及率：汚水処理施設(下水道・農業集落排水・浄化槽等)の整備区域内の人口÷行政人口×100。
 ** 単独処理：生活排水で台所や風呂などの排水を処理せずに、し尿のみを処理する方法。

第3章 さぬき市の環境

3-1 生活環境 (1) 大気

＊ 現状

さぬき市は大気汚染についての恐れは小さく、おおむね良好な状況が続いています。

香川県では、大気汚染の恐れのある地域に23箇所の常時監視測定局を置き、環境基準*(有害大気汚染物質以外)項目を自動測定しています。また、県内4地点で有害大気汚染物質を調査しています。

さぬき市は、坂出市や丸亀市などと比較して大気汚染の恐れが少ない地域であるため、常時監視測定局がなく、県内を巡回している大気測定車が周ってきた年に、4回/年の調査が実施されています。

さぬき市に最も近い常時監視測定局の調査結果では、おおむね環境基準を満足し、大気の状態は良好といえます。さぬき市で実施された年4回の調査も同様の結果が得られています。

＊ 関連計画

さぬき市総合計画に大気に関する具体的な目標値は定められていませんが、大気汚染源である自動車交通について道路交通の混雑緩和や公共交通機関の利用促進、コミュニティバス利用者数の増加促進などが盛り込まれています。

計 画	指 標	目標数値	目 標 年 度
さぬき市総合計画	主要地方道高松長尾大内線混雑度	改善	2011年度(H23)
	公共交通機関が利用しやすいと感じている市民の割合	増加	
	主要な公共交通施設へのアクセスが容易だと感じている市民の割合	増加	

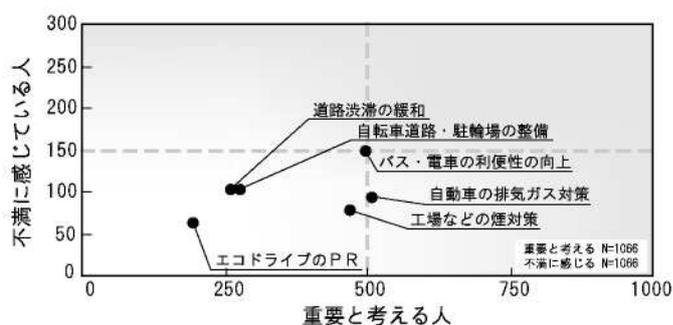
※ コミュニティバスについて第2章2-5参照

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- バス・電車の利便性の向上
- 自動車の排気ガスや工場などの煙対策

「バス・電車の利便性の向上」が重要で、不満を感じる市民が多いです。また、「煙や自動車の排気ガス対策」は不満ではないものの、重要と感じている市民が多いです。



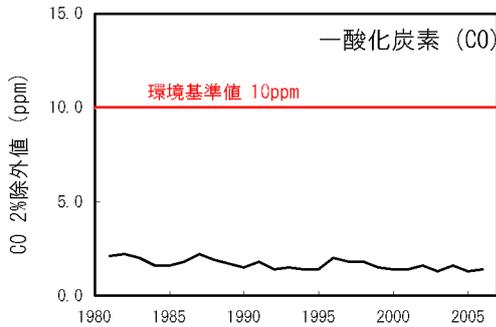
＊ 問題点

- 常時監視測定局がなく、市内の大気の状態について十分把握できていません。
- 総合計画にバスや電車、コミュニティバスに関する目標が定められていますが、利便性の向上が必要です。

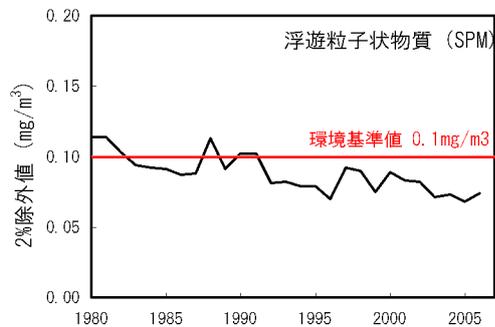
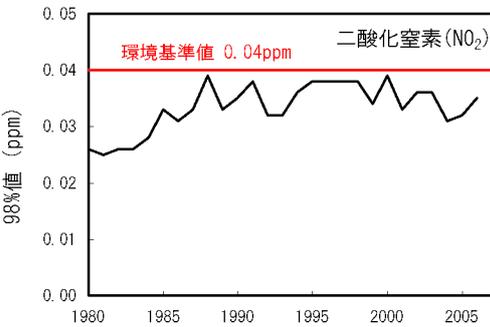
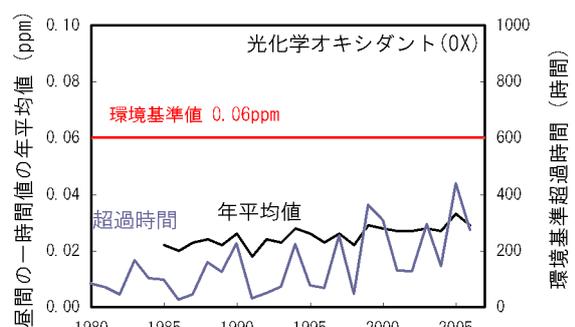
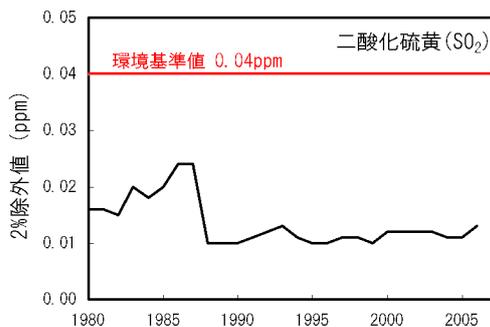
平成18年度 大気測定車によるさぬき市の大気調査結果（寒川支所）

項目	単位	全調査期間の1時間値最大値	4回の調査における期間平均の平均値
二酸化硫黄 (SO ₂)	ppm	0.011	0.002
二酸化窒素 (NO ₂)	ppm	0.034	0.010
一酸化炭素 (CO)	ppm	2.1	0.5
光化学オキシダント (OX)	ppm	0.107	0.035
浮遊粒子状物質 (SPM)	mg/m ³	0.105	0.028

※ 調査期間 H18. 6. 6~6. 14・H18. 9. 12~9. 20・H18. 12. 12~12. 20・H19. 3. 14~3. 22



花園(自排局)の大気調査結果



高松東消防局(一般局)の大気調査結果

図3-1 さぬき市の大気環境の状況 出典：香川県HP さぬきの空情報館・国立環境研究所HP・環境GIS

WORD

※ 環境基準：人の健康の保護と生活環境の保全の上で、大気、水、土壌、騒音について維持されることが望ましい基準を定めたもの。大気では、大気汚染に係る環境基準、有害大気汚染物質に係る環境基準、ダイオキシン類に係る環境基準がある。大気汚染に係る環境基準項目は二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダントがある。

(2) 水

＊ 現状

津田川の水質は良好な状況が続き、鴨部川も改善されています。弁天川の水質も改善されてきていますが、環境基準は未達成です。

さぬき市では11本の二級河川が指定され、多数の地点で様々な目的の水質調査を実施しています。水質に関する環境基準*では、鴨部川と津田川が環境基準A類型、弁天川がC類型に指定されています。また、さぬき市に面した海域全域が生活環境項目で海域A類型、全窒素全燐に関する指定で海域II類型に指定されています。

河川の水質項目は、全調査で環境基準を満足しました(平成18年)。BOD*では、津田川は良好な状況を維持し、環境基準を満足しています。鴨部川は改善傾向にあり、2006年では環境基準を満足しました。弁天川は改善傾向にあるものの、依然環境基準を超過しています。海域では、COD*が増加傾向にあり、2004年度以降、環境基準を超過しています。全窒素、全燐については良好な状況を維持し、環境基準を満足しています。

＊ 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画では、水質に関する目標値と、水質に関連する汚水処理人口普及率に具体的な目標値を定めています。都市計画マスタープランでは、水質に関する具体的な目標はありませんが、汚水処理人口普及率と下水道整備率の目標値を定めています(汚水処理は第2章2-6を参照)。

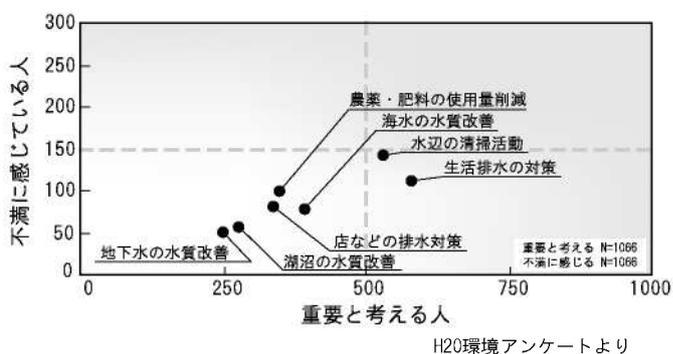
計 画	指 標	目標数値	目 標 年 度
さぬき市総合計画	環境基準未達成河川 BOD 鴨部川 弁天川	2.0mg/L 5.0mg/L	2011年度(H23)

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- 水辺の清掃活動
- 生活排水の対策

「水辺の清掃活動」を不満で重要と感じている市民が多く、水辺のごみの対策などについて要望があります。また、「生活排水の対策」を重要と感じている市民が多いです。



＊ 問題点

- 弁天川では、BODが環境基準を超過しています。
- 汚水処理人口普及率が総合計画で挙げられ、「生活排水の対策」を重要と感じている市民が多いにもかかわらず、全国平均に比べて汚水処理人口普及率が低い傾向があります。
- 水辺の清掃活動に対する市民の要望が多いです。

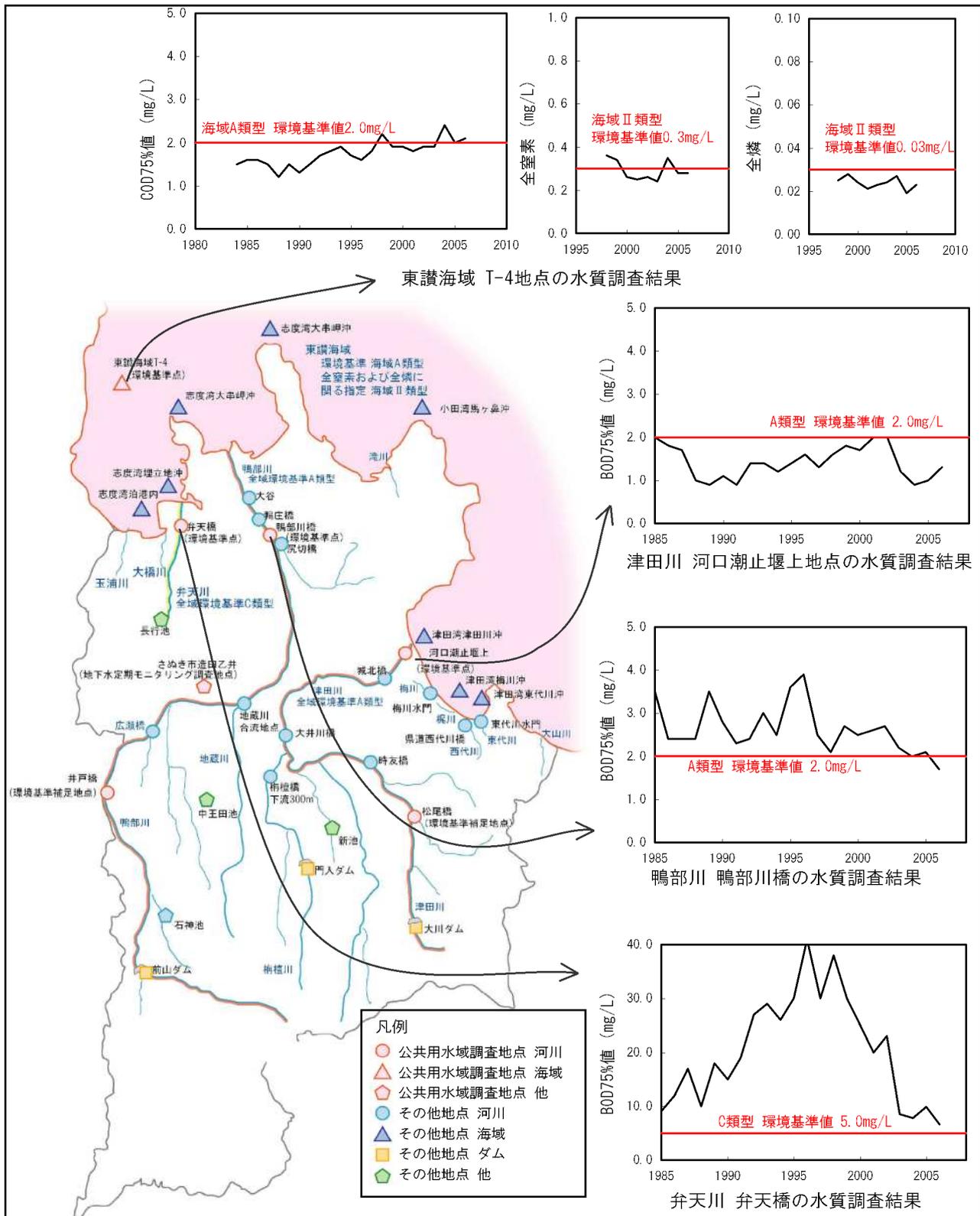


図3-2 さぬき市の水環境の状況

※ 出典：平成19年度水質測定計画 香川県・国立環境研究所HP 環境GIS

WORD

※ 環境基準：水質に係る環境基準は人の健康の保護(健康項目)と生活環境の保全(生活環境項目)、ダイオキシン類に係る環境基準がある。健康項目はカドミウムなど26項目に基準値が設定されている。生活環境項目は汚濁状況や位置などによって水域が類型指定され、類型ごとにBOD(COD)などに基準値が設定されている。湖沼、海域には富栄養化に関する基準として、全窒素・全磷に係る基準値も設定されている。

※ BOD・COD：水の汚れ(有機汚濁物質)の指標の一つ。一般的に河川はBOD、海域はCODで評価する。

(3) 騒音・振動・土壌・悪臭

＊ 現状

騒音、振動、土壌、悪臭の大きな問題は発生しておらず、良好な状況です。

【騒音】騒音では、環境基準指定地域が志度駅から志度I.C.周辺に、騒音規制法に基づく指定地域が旧志度町全体にわたって指定されています。ただし、さぬき市内での調査は実施されていません。

香川県全体の環境基準達成状況は、一般地域の環境騒音では、他市町村34地点で調査した結果、全日にわたっての達成率が76.5%でした。また自動車騒音では、香川県内の幹線道路沿いの面的な評価で、環境基準達成状況は98.5%でした(香川県内幹線道路沿い6市4町で実施)。

【振動】振動では、振動規制法で住居が集合している地域、学校、病院などの地域を指定して防止することとなっていますが、さぬき市に指定地域はありません(平成18年度末現在)。

【土壌】土壌では、有害物質を使用していた事業所を廃止する場合や、事業場跡地で土壌汚染の恐れが高い地域を指定地域に指定することとしています(土壌汚染防止法)。

さぬき市を含め、香川県内には該当する指定地域はありません(平成18年度末現在)。

【悪臭】悪臭では、悪臭の発生により被害が生じると考えられる住居の集合している地域を悪臭規制地域として指定し、工場、事業場に対し規制を行うこととしています(悪臭防止法)。

さぬき市には該当する指定地域はありません(平成18年度末現在)。

＊ 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画、都市計画マスタープランに、騒音、振動、土壌、悪臭に関する具体的な目標値は定められていませんが、道路交通騒音・振動に間接的な関係がある、道路交通の混雑緩和や公共交通機関の利用促進などが盛り込まれています。

＊ 市民の要望

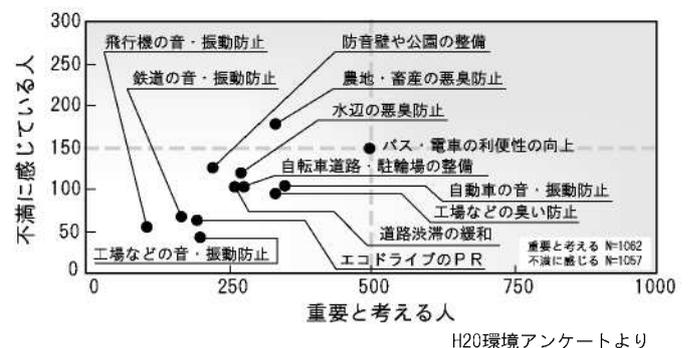
市民が要望している項目

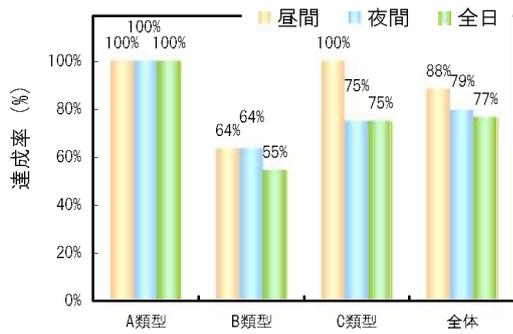
- バス・電車の利便性の向上
- 農地・畜産の悪臭防止

「バス・電車の利便性を向上する」が重要で、不満を感じる市民が多いです。また「農地・畜産の悪臭防止」を不満を感じる市民が多いです。特に畜産については洗濯物へ臭いがうつると言った問題が挙げられました。

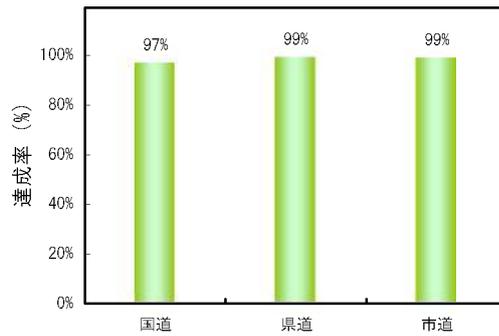
＊ 問題点

- 騒音調査が実施されておらず、市内の騒音の状況について十分把握できていません。
- 総合計画にバスや電車、コミュニティバスに関する目標が定められていますが、利便性の向上が必要です。
- 農地・畜産から発生する悪臭が問題です。

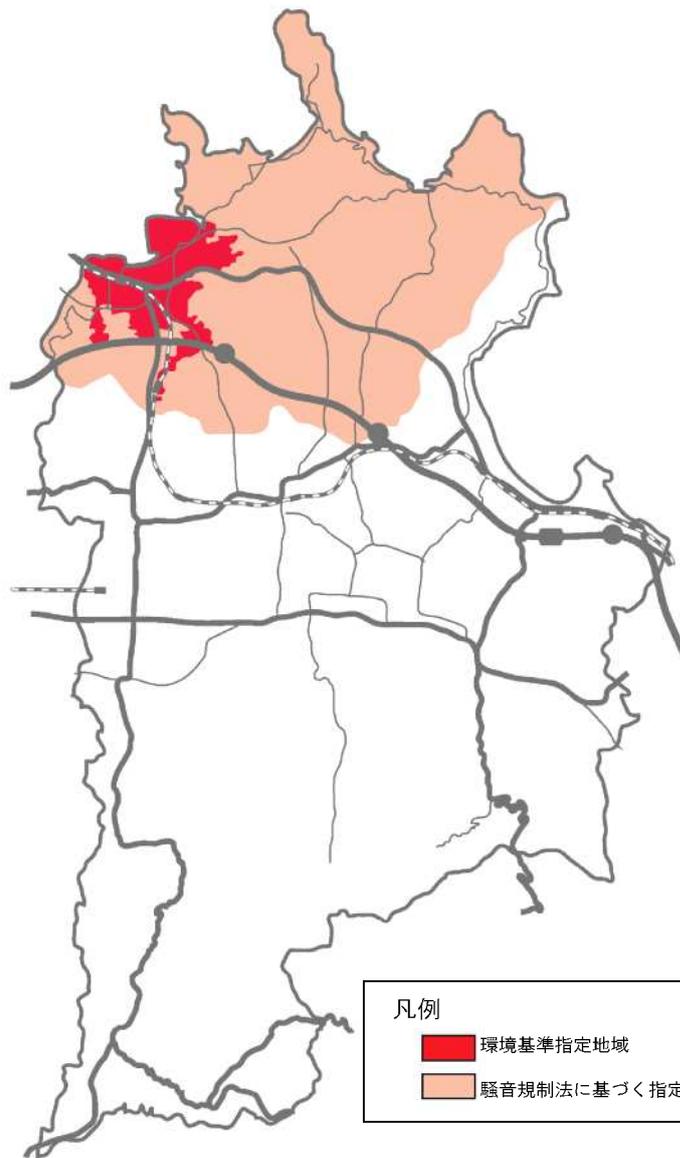




香川県における一般地域の環境騒音環境基準達成状況 (H18)



香川県における自動車騒音環境基準達成状況 (H18)



さぬき市の騒音規制地域

図3-3 さぬき市の騒音の状況

※ 出典：国立環境研究所HP 環境GIS・平成19年度 香川県環境白書

3-2 自然環境

(1) 自然

* 現状

海岸部、山間部、平野部の田園地域など、多様な自然地域を有していますが、アクセスが悪い、情報発信が不足、維持管理が不十分などの問題を抱えています。

さぬき市では大串半島や津田の松原をはじめとする海岸部、みろく公園や女体山などの山間部、それらに囲まれた平野部の田園地域など、多様な自然環境を有し、多数の自然保護地域等が指定されています。しかしながら、アクセスが悪い、情報発信が不足しているといった問題を抱えています。

さぬき市の緑地の状況では、都市計画区域内の緑地確保面積[※]が平成12年度は29.1m²/人でしたが、平成20年3月末に30.1m²/人に増加しました。

* 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画では、都市計画区域の緑地の確保について具体的な目標値を定めています。

都市計画マスタープランでは緑地確保について具体的な目標値を定めているほか、緑地や河川、海岸の自然の環境保全に関する「自然的環境保全に関する基本方針」を定めています。

計 画	指 標	目標数値	目 標 年 度
さぬき市総合計画	人口1人当りの緑地確保面積 [※]	30.0m ² /人	2011年度(H23)
都市計画 マスタープラン	緑地確保目標面積	2,300ha	2020年(H32)
	緑地確保目標 [※]	30%	
	人口1人当りの緑地確保面積 [※]	30.0m ² /人, 36.0m ² /人	2010年度(H22), 2020年(H32)

※ 都市計画区域内の人口、面積に対する割合

* 市民の要望

市民が要望している項目

- 山林の草刈り・間伐
- 森林や自然、水辺の保全
- 里地里山の保全

「水辺の保全」を重要で不満と感ずる市民が多いです。「山林の草刈り・間伐」に不満、

「森林や自然の保全」を重要と感ずる市民が多いです。

市民の大切にしたいものとして、琴林公園(津田の松原)・大串自然公園・みろく公園・亀鶴公園・日盛山の桜・三重の滝・女体山・雨滝山・門入の郷が挙げられています(H19市民アンケート)。また、雲附山・五瀬山・日盛山・大串・雨滝山などについて里地里山の保全の要望が挙がっています(市政懇親会)。



H20環境アンケートより

* 問題点

- 身近な水辺の保全や山林の管理から、琴林公園(津田の松原)や大串自然公園などの自然景勝地の多様な自然について、維持・管理が重要です。
- さぬき市内の公園や景勝地には、アクセスが悪い、情報量が少ない、管理が不十分といった問題を抱えているものがあります。

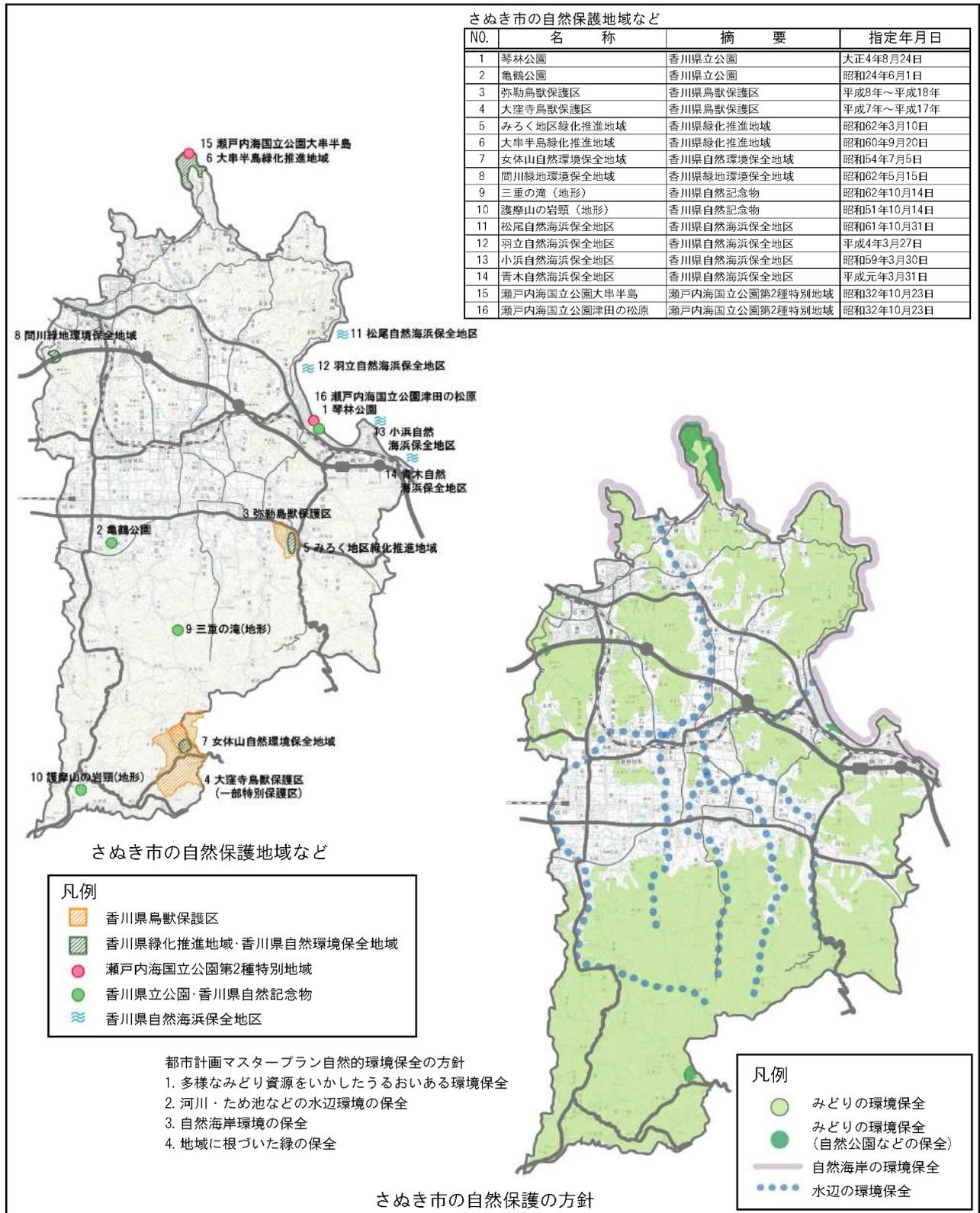


図3-4 さぬき市の自然の状況

※出典：さぬき市都市計画マスタープラン・さぬき市勢要覧2005資料編、
香川の自然保護マップ・平成17年度鳥獣保護区等位置図

WORD

※ 緑地確保面積：「緑地」は自然公園地域・森林面積・施設緑地の面積合計とし、緑地面積を区域内人口で割ったもの。

(2) 動物と植物

* 現状

多様な自然環境に応じて多種の動植物が生息、生育しています。
希少な種であるニッポンバラタナゴの県内の生息地のほとんどがさぬき市にあります。

【希少生物】さぬき市には、「香川県希少野生生物保護対策事業」の対象となっている種のうち、ニッポンバラタナゴとハクセンシオマネキの2種が生息しています。ニッポンバラタナゴは香川県の「指定希少野生生物」*にも指定されており、県内の生息地のほとんどがさぬき市に集中しています(県内38箇所中23箇所：平成13年時点)。ハクセンシオマネキは、鴨部川と津田川の河口での生息が確認されています。

【動物】さぬき市は海岸線、鴨部川、津田川等の河川、平野部、多くのため池、里山等の多様な自然環境から構成されているため、豊かな生息環境に恵まれ、多様な動物や植物が生息しています。

【植物】人の影響を受けない場合のさぬき市本来の自然植生は照葉樹林です。このため、人の手の入らない社寺林や沢筋には、ヤブツバキ、アラカシ、コジイなどがみられ、クスノキ、クロガネモチなどの巨木も多く残っており、多くの木が香川県指定天然記念物等に指定されています。原生林などはありませんが、人里の多様な自然環境に応じて多種の植物が生育しています。

* 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画に、動物や植物について具体的な目標値は定められていません。

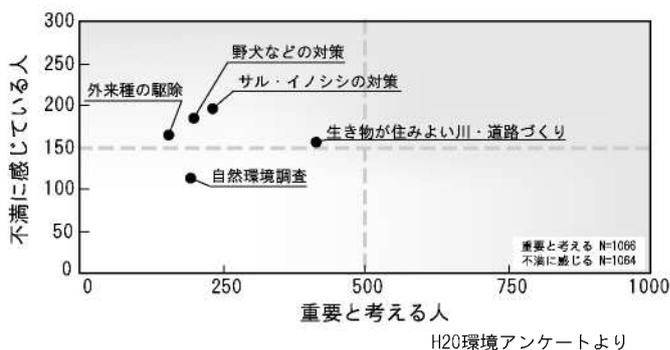
都市計画マスタープランにも具体的な目標値は定められていませんが、自然環境の保全の中で、動物や植物の生息地域としての保全がうたわれています(1)自然参照)。

* 市民の要望

市民が要望している項目

- 生き物が住みよい川・道路づくり
- サル・イノシシ・野犬などの対策
- 外来種の駆除

「サル・イノシシ・野犬などの対策」「外来種の駆除」を不満と感じる市民が多いです。また、「生き物が住みよい川・道路づくり」を重要・不満と感じる市民が多いです。

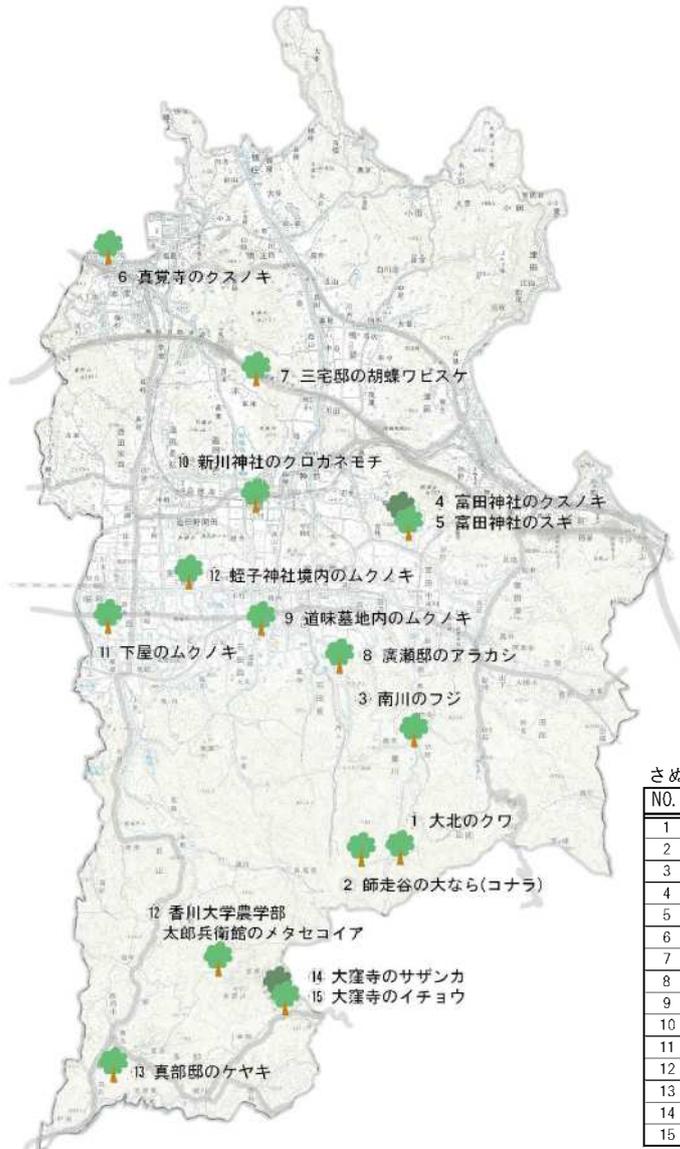


* 問題点

- さぬき市は希少な生物の保護、多様な自然を有するため、自然環境の保全が必要です。
- サル・イノシシ・野犬などの被害、アライグマやブラックバスなどの外来種など、生物による生活、自然への影響が問題です。
- 生き物が住みよい川・道路づくりに対する市民の要望が強いです。

さぬき市の動物の様子

類	さぬき市の動物の状況
哺乳類	・市内全域でノウサギ、タヌキ、キツネ、イタチ、テン、アナグマ、ハクビシンがよく見られる ・南部の山間部でニホンザル、イノシシ、シカ、アライグマが見られる ・ニホンザル、イノシシによる農林産物の被害が増加している ・海岸部でスナメリが見られる
鳥類	・キジ、ウグイス、メジロなどが見られる ・カラスやドバトによる果樹・野菜の被害が増加している
両生類 爬虫類	・ヘビ類はシマヘビ、ヤマカガシ、アオダイショウ、マムシ、ジムグリ、ヒバカリ、シロマダラ、タカチホヘビが市内全域に見られる ・トカゲ類は、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、ニホンヤモリが市内全域に見られる ・カメ類はクサガメが見られ、個体数は少ないがスッポンも見られる ・カエル類については、アカハライモリ、カスミサンショウウオなどの個体数が激減している ・1955年に市内最南部・山間部の多和でタワヤモリが新種として発見された
昆虫類	・チョウ類は60種ほど、トンボ類は約40種が確認されている ・大型のアゲハチョウ類は10種ほど見られ、個体数は少ないがオオムラサキも山間部で見られる ・クヌギ、アベマキ林ではカブトムシ、ヒラタクワガタ、ノコギリクワガタ、コクワガタなどが見られる ・ゲンジボタルが見られる水辺もある ・市内の昆虫相について調査されたことはあまりない
魚類	・淡水魚類は20数種が確認されている ・局地的にニッポンバラタナゴの生息が確認されてる



さぬき市の樹木

NO.	名称	摘要
1	大北のクワ	香川県指定天然記念物
2	師走谷の大なら(コナラ)	香川県指定天然記念物
3	南川のフジ	香川県指定天然記念物
4	富田神社のクスノキ	香川の保存木
5	富田神社のスギ	香川の保存木
6	真覚寺のクスノキ	香川の保存木
7	三宅邸の胡蝶ワビスケ	香川の保存木
8	廣瀬邸のアラカシ	香川の保存木
9	道味墓地内のムクノキ	香川の保存木
10	新川神社のクロガネモチ	香川の保存木
11	下屋のムクノキ	香川県指定天然記念物
12	香川大学農学部太郎兵衛館のメタセコイア	香川の保存木
13	真部邸のケヤキ	香川の保存木
14	大窪寺のサザンカ	香川の保存木
15	大窪寺のイチョウ	香川の保存木

図3-5 さぬき市の動物や植物の状況

※ 出典：さぬき市HP・さぬき市市勢要覧2005資料編

WORD

※ 香川県指定希少野生生物：香川県希少野生生物の保護に関する条例に基づき、特に保護を図る必要があると認められるものを「指定希少野生生物」として指定している。

3-3 その他の環境

(1) 快適環境

* 現状

瀬戸内海国立公園の特別地域が2箇所、都市公園などが25箇所あります。

さぬき市の公園では、瀬戸内海全域にわたる瀬戸内海国立公園と、都市公園などが25箇所あります(平成19年3月末)。瀬戸内海国立公園では大串岬、琴林公園が特別地域に指定されています。

都市公園では、市民の身近な公園(住区公園・地区公園)が16箇所、遊戯や運動など多目的の公園(総合公園)が3箇所あります。また、自然の風景を楽しむ公園(風致公園)や休息の広場としての公園(広場公園)など、その他の公園が6箇所あります。

* 上位計画と関連計画

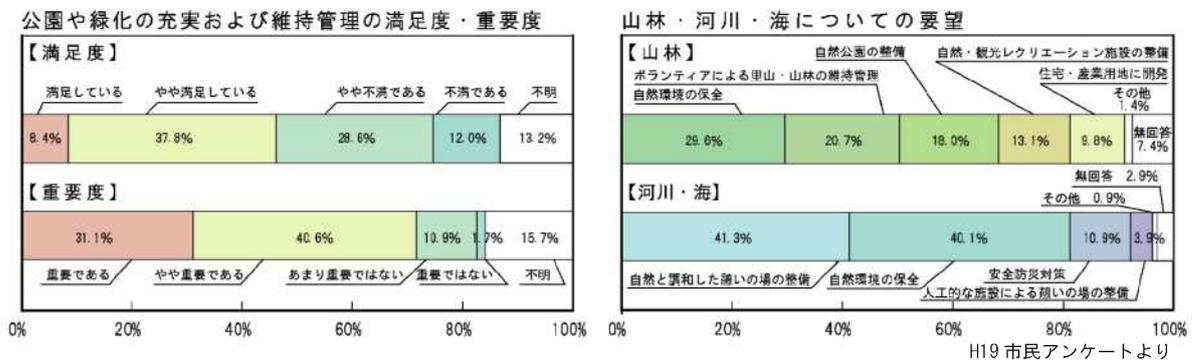
さぬき市総合計画、公園整備の具体的な目標値は定められていません。

都市計画マスタープランにも具体的な目標値は定められていませんが、整備に関する方向性について「公園緑地整備に関する基本方針」を定めています。

* 市民の要望

- 市民が要望している項目
- 公園や緑化の充実および維持管理
 - 自然の公園や憩いの場、レクリエーション施設の有効活用

「公園や緑化の充実および維持管理」を重要で不満と感じる市民が多く、森林、河川を公園や憩いの場、レクリエーション施設として活用することを求める市民が多いです。さぬき市環境基本計画策定委員会では大串自然公園などの公園、レクリエーション施設の有効利用の要望が挙げられました。



* 問題点

- 森林や河川などの自然と調和した公園の整備を求める市民が多いです。
- 既存の公園・レクリエーション施設を有効に活用する必要があります。

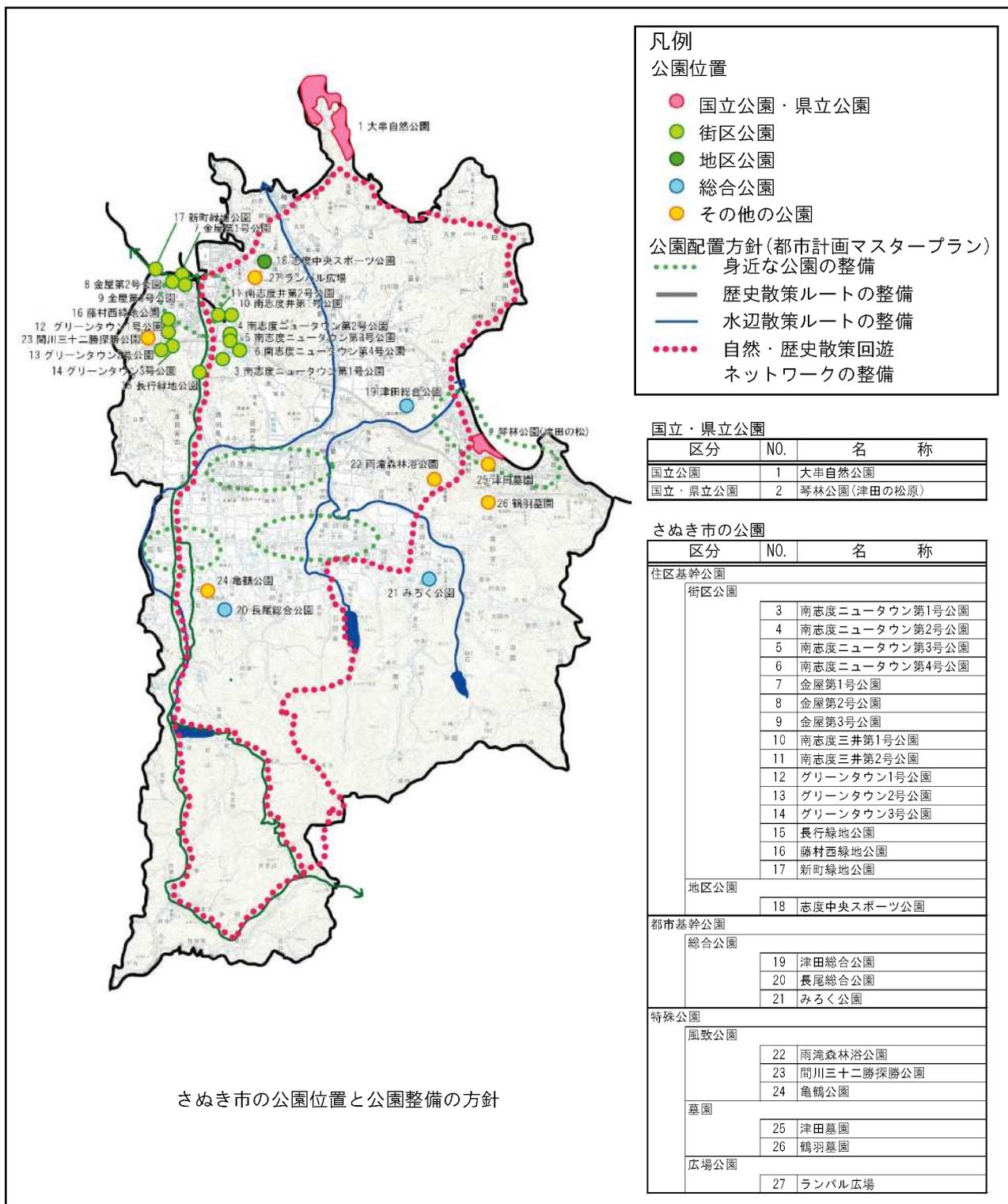


図3-6 さぬき市の公園などの状況

※ 出典：さぬき市都市計画マスタープラン・環境省HP 瀬戸内海国立公園区域図

(2) 資源・廃棄物

＊ 現状

ごみ排出量は横ばい傾向ですが、リサイクル率は全国、香川県より上回っています。

さぬき市では、可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみをステーション方式で、粗大ごみをステーション方式と一箇所方式で収集しています。

ごみの排出量は概ね横ばい傾向にあります。リサイクル率は平成14年度以降、各種リサイクル法の整備などの効果もあって上昇し、全国、香川県を上回っています。

＊ 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画では、ごみ、リサイクルについて具体的な目標値を定めています。

都市計画マスタープランでは目標値は定められていませんが、「その他都市施設整備に関する基本方針」で環境衛生施設などの整備方針として、廃棄物処理施設の維持管理と充実を掲げています。

また、さぬき市では平成20年3月に一般廃棄物処理基本計画が策定されており、廃棄物処理とリサイクルについて具体的な目標値が定められています。

計 画	指 標	目標数値	目 標 年 度
さぬき市総合計画	1人1日当たりのごみ排出量	約750g	2011年度(H23)
	一般廃棄物のリサイクル率	35.0%	
一般廃棄物処理基本計画	ごみ排出量 総量	H18年度比6%削減	2020年度(H32)
	1人1日当たりのごみ排出量	848g	
	一般廃棄物のリサイクル率	35.0%	

＊ 市民の要望

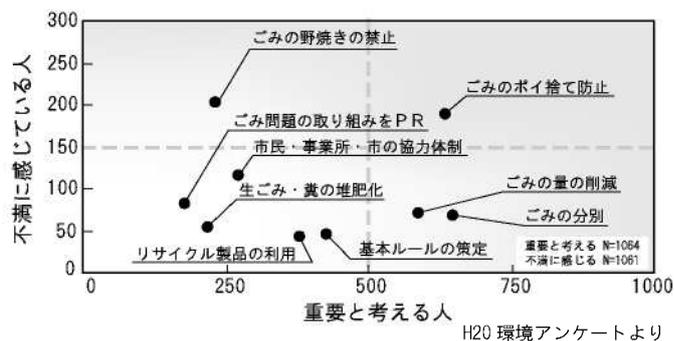
市民が要望している項目

- ごみのポイ捨て防止
- ごみの野焼きの防止
- ごみの量の削減・ごみの分別

「ごみのポイ捨て防止」を重要・不満、

「ごみの野焼きの防止」を不満と感じている

市民が多く、ごみに関する違法行為の対策が望まれています。特に山間部や道路沿い等での不法投棄が問題として挙げられています。また「ごみの量の削減」「ごみの分別」を重要と考える市民が多いです。



＊ 問題点

- 1人1日当たりのごみ排出量は横ばい傾向で、総合計画の目標達成に向けた減量は進んでいない状況です。
- ごみの野焼きや、山間部や道路沿いなどでのごみの不法投棄といった、ごみに関する違法行為が問題です。

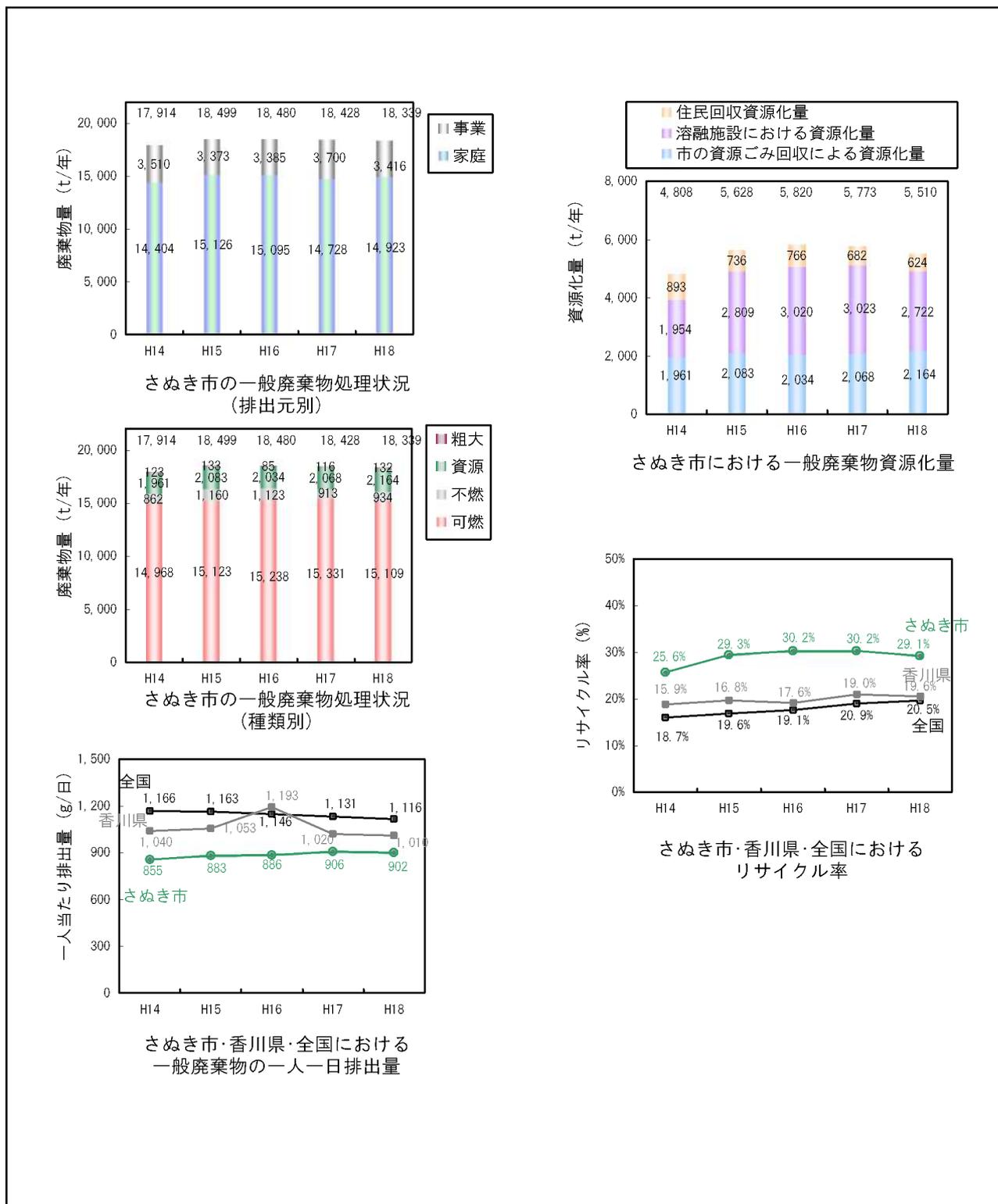


図3-7 さぬき市の廃棄物などの状況

※ 出典：さぬき市一般廃棄物処理基本計画・香川県HP・環境省HP、
H18年版循環型社会白書・H17香川県環境白書

(3) 市民の取り組み

* 現状

市民は環境保全に前向きに取り組んでいますが、生活への負担が大きい取り組みは、なかなか実施できない状況があります。

さぬき市民で、環境保全へ取り組んでいる人は59%、どちらとも言えない人は18%、取り組んでいない人は18%でした。取り組めない理由としては、最も多いのが「手間がかかる」、次が「やり方が分からない」でした。「手間がかかる」、「お金がかかる」、「不便だから」といった生活への負担を理由に挙げている人が55%と半分以上を占めています。

個々の取り組みについても、ごみの分別、水きりネットの利用や洗剤の使用量、電気、水の節約など、体制が整っていたり、日常的に配慮できる項目は実施している人が多いですが、環境保全活動への参加や、公共交通機関の利用など、生活に負担がある項目は実施している人が少ない状況です。

また、15歳以下のごみの分別、水、電気の節約は「環境に優しいことを知っている」にもかかわらず、「行っていない」人が多いです。

* 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画に市民の取り組みについての目標値は定められていません。

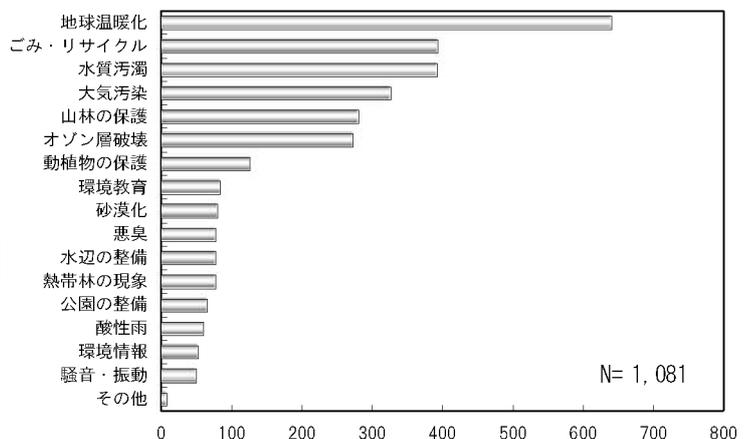
* 市民の要望

市民が重要とした環境問題

- 地球温暖化
- ごみ・リサイクル
- 水質汚濁・大気汚染
- 山林の保護
- オゾン層破壊

「地球温暖化」を重要と考える人が非常に多いです。「オゾン層破壊」も多く、特に子供たちの野外活動での紫外線対策が挙げられています。

身近な環境問題では「ごみ・リサイクル」、「水質汚濁」、「大気汚染」、「山林の保護」など身近な環境を重要と考える人が多いです。



市民が重要と考えている環境問題・対策 (3つ選択)
H20環境アンケート

* 問題点

- 市民の積極的な取り組みが進まない理由として、生活へ負担がかかることがあります。
- 15歳以下の方は「環境に優しい」と知りながらも「行っていない」取り組みが多いです。
- 市民は「地球温暖化」を最も重要な環境問題としてとらえています。

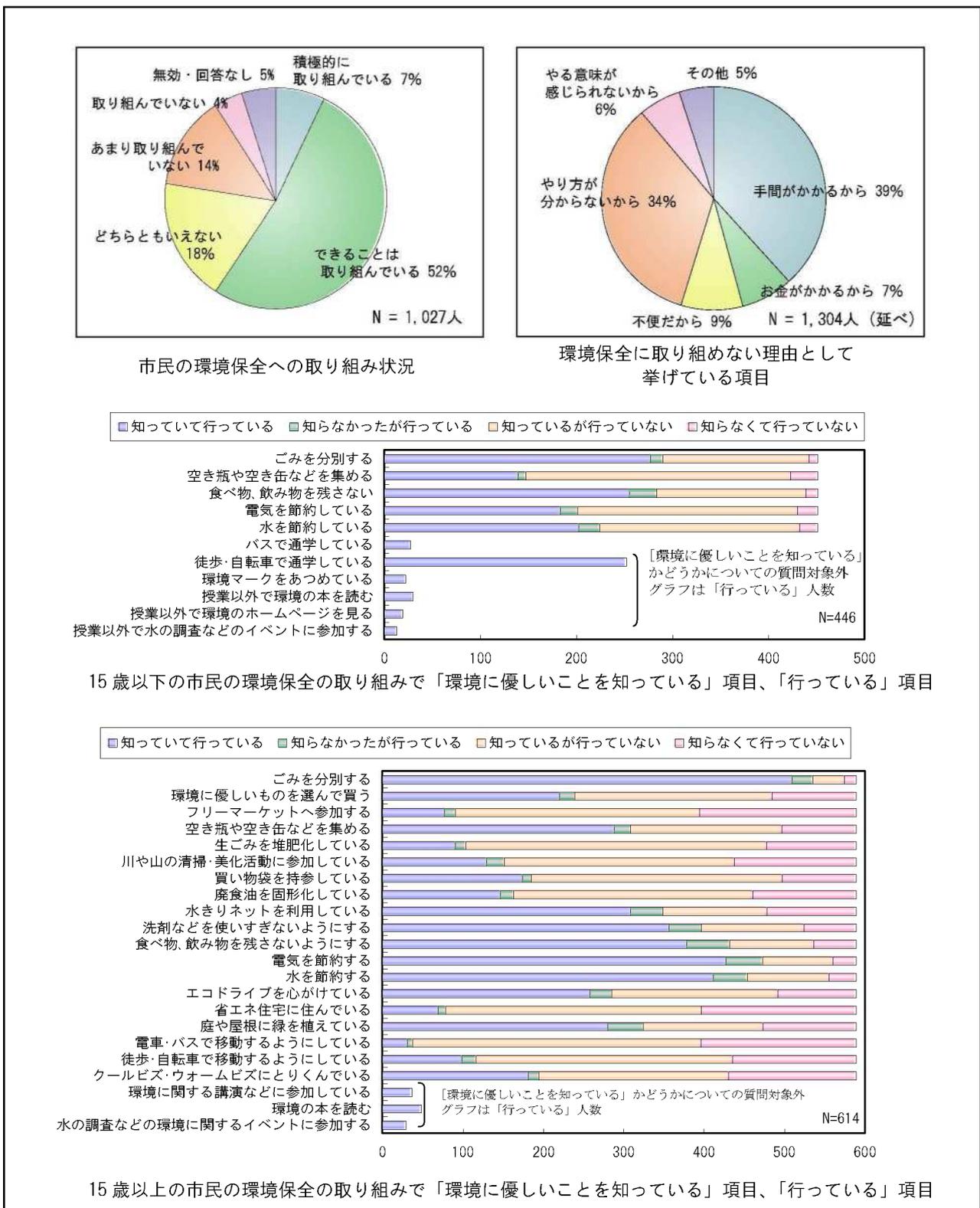


図3-8 さぬき市の市民の環境保全への取り組み状況

※ 出典：平成20年 環境アンケート

(4) 地域の取り組み

＊ 現状

環境美化活動など、地域の取り組みが盛んです。

さぬき市では、多数の市民の参加による環境に関係した活動が行われています。平成14年度国土交通大臣により表彰を受けた鴨部川アジサイ夢ロードの維持管理、清掃を実施している「鴨部川アジサイ夢ロード「造田の会」」、さぬき市を代表する自然景勝地である津田の松原の保全や植樹を実施している「八八松甞会」など、活動内容も多様です。

＊ 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画では、環境に直接関係のある市民の活動についての目標値は定められていませんが、ボランティア活動全般に関する目標値を定めています。

計 画	指 標	目標数値	目 標 年 度
さぬき市総合計画	ボランティア団体登録件数	70団体	2011年度(H23)

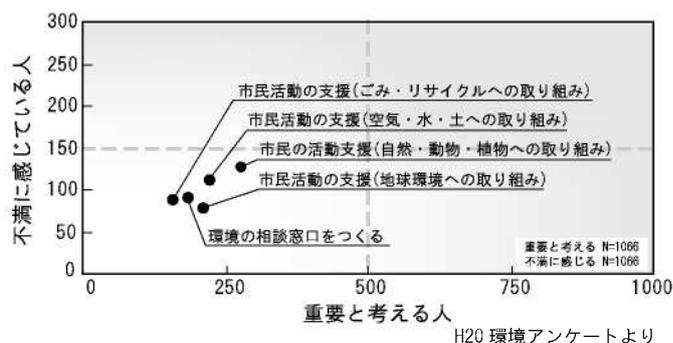
※ さぬき市社会福祉協議会HPに63団体の団体が掲載されています。

＊ 市民の要望

市民が要望している項目

- 様々な市民活動への支援

様々な市民活動について支援の要望があります。特に、「自然・動物・植物に関する活動」を重要とする人が多いです。鴨部川アジサイ夢ロードや津田の松原の保全をはじめとした、植林や保全活動へ支援が挙げられています。



＊ 問題点

- 地域で市民がみずから行っている様々な環境保全活動への支援が望まれています。



図3-9 さぬき市の環境に関する地域活動の状況

※ 出典：さぬき市調べ・さぬき市社会福祉協議会HP

(5) 環境情報・環境教育など

＊ 現状

学校教育の中で、様々な環境教育が実施されています。
環境調査の結果などは、さぬき市HPでの公開は少ないですが、一部、国や県などのHP上
で見ることがもできます。

小学校での環境教育は、それぞれの地域の自然をいかした環境教育を実施しています。子供たちの生活に密着した内容の授業や、企業や地域、公共団体と協力した活動への参加など、様々な工夫を凝らした教育が行われています。中学校では、保健体育の授業で環境問題などの深い知識を学んでいる他、水質調査、清掃活動などを行っています。環境情報では、さぬき市HP上などでの環境調査の結果などは公表していませんが、国、県などのHP上で一部、調査結果を見ることができます。

＊ 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画では、環境情報や教育に直接関係のある目標値は定められていません。



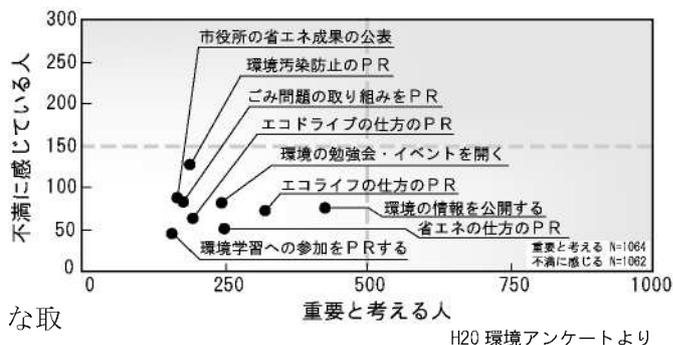
図3-10(1) さぬき市の環境教育の状況

＊ 市民の要望

- 市民が要望している項目
- 環境汚染の情報

「環境汚染防止のPR」について不満とを感じる市民が多いです。また「環境の情報を公開する」ことを重要と考えている市民が多いです。

また、さぬき市(行政)が環境についてどのような取り組みを実施しているか知らないという声がありました。



＊ 問題点

- 環境に関する情報の発信が望まれています。
- 市民がさぬき市(行政)の環境への取り組みを知らないという声があります。



図3-10(2) さぬき市の環境教育の状況

(6) 地球環境

* 現状

高松気象台の観測結果も温暖化の傾向が認められます。
 さぬき市の二酸化炭素(CO₂)排出量は、交通、家庭からの割合が高い傾向があります。

地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊などの地球環境問題は世界共通の課題であり、特に地球温暖化は深刻な状況にあります。高松気象台の気温観測結果でも温暖化の傾向が認められています。

さぬき市のCO₂排出量の内訳は、香川県とは似た割合となっていますが、全国と比較すると交通や家庭からの排出量の割合が高くなっています。さぬき市では第一次産業の割合が高いので、製造業、民生業務からの排出量が少ないことと、都市と比較すると公共交通機関の利用が少ないためと思われる。

* 上位計画と関連計画

さぬき市総合計画に地球温暖化に関する具体的な目標値は定められていませんが、自動車交通について道路交通の混雑緩和や公共交通機関の利用促進、コミュニティバス利用者数の増加などが盛り込まれています(3.1(1)大気参照)。

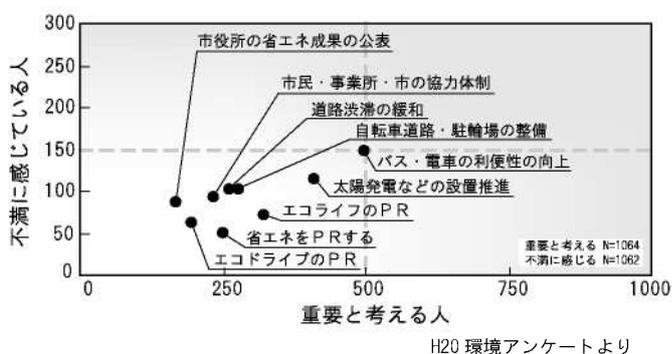
また、香川県では地球温暖化対策推進計画(平成18年3月)が策定されており、県全体での具体的な目標値が定められています。

計 画	指 標	目標数値	目標年度
香川県 地球温暖化対策推進計画	温室効果ガス排出量	6%減	2010年度 (H22)
	【家 庭】自動車以外の生活から 自動車から	1世帯 1.8%減 1台 1.7%減	
	【事業者】工場から オフィス、店舗 運送業	出荷額100万円当り 3.6%減 床面積当り 2.6%減 貨物輸送量千トンキロ当り 3.0%減	

* 市民の要望

- 市民が要望している項目
- バス・電車の利便性の向上
 - 太陽発電などの設置推進

「バス・電車の利便性の向上」が重要で、不満を感じる市民が多いです。また、「太陽発電などの設置推進」も重要で不満とする市民が多くCO₂を出さないエネルギーへの転換も望まれています。



* 問題点

- さぬき市は交通からのCO₂排出量が多いですが、バスや電車、コミュニティバスなど、公共交通機関の利便性の向上が必要です。
- CO₂排出量の削減に関するさぬき市の具体的な目標がありません。

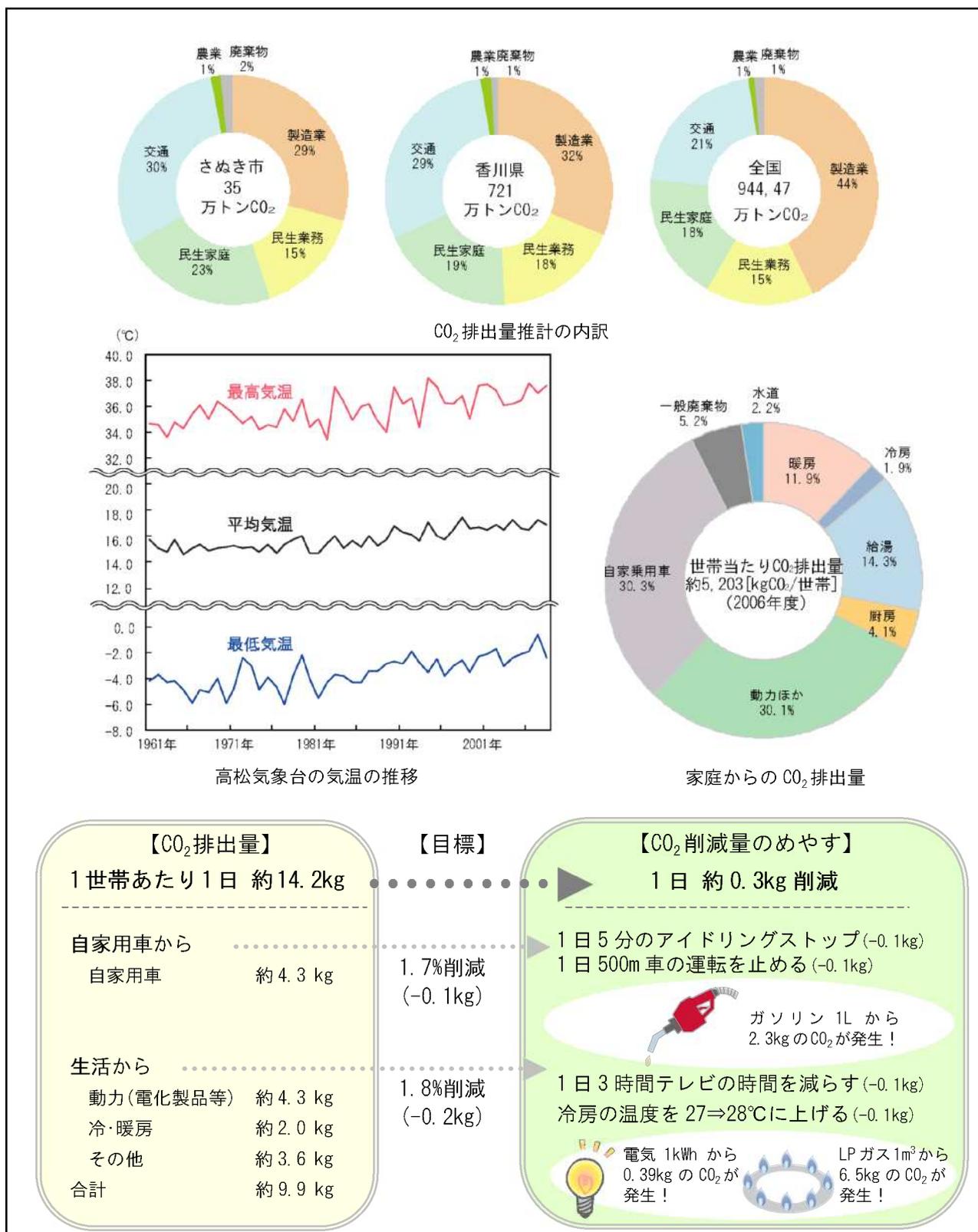


図3-11 さぬき市の地球温暖化の状況

※ 出展：気象庁HP、環境自治体HP(平成17年度地方公共団体の二酸化炭素排出量推計手法検討調査報告書)、温室効果ガスインベントリオフィス(日本の1990～2006年度の温室効果ガス排出量データ(2008.7.9発表))、全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)HP(家庭のできる取り組み10項目)

3-4 さぬき市の環境の問題と課題

さぬき市の環境の現状をもとに、問題点を整理しました。

【 環境の現状 】

- ◆ 総合計画: さぬき市総合計画にある目標
- ◆ 市民の要望: H19市民アンケート、H20環境アンケートで市民の要望が多い項目

生活環境



大気

- ◆ 現状の概要 おおむね良好です。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
道路混雑、公共交通機関の利用に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「自動車の排気ガスや工場などの煙対策」「バス・電車の利便性の向上」



水

- ◆ 現状の概要 津田川・鴨部川の水質は良好ですが、弁天川はさらなる改善が必要です。
- ◆ 総合計画 川の水質改善、汚水処理の普及に関する目標が定められています。
- ◆ 市民の要望 「水辺の清掃活動」「生活排水の対策」



騒音・振動
土壌・悪臭

- ◆ 現状の概要 良好です。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
道路混雑、公共交通機関の利用に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「バス・電車の利便性の向上」「農地・畜産の悪臭防止」

自然環境



自然

- ◆ 現状の概要 海域、山間、田園地域など多様な自然地域を有しています。
アクセス道路や情報発信、維持管理に改善が必要な景勝地があります。
- ◆ 総合計画 都市計画区域内の緑地面積に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「山林の草刈り・間伐」「森林や自然、水辺の保全」「里地里山の保全」



動物・植物

- ◆ 現状の概要 多種の動植物が生息、生育しています。
県内の希少種ニッポンバラタナゴのほとんどの生息地がさぬき市にあります。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
- ◆ 市民の要望 「生き物が住みよい川・道路づくり」「サル・イノシシ・野犬などの対策」「外来種の駆除」

その他の環境



快適環境

- ◆ 現状の概要 瀬戸内海国立公園の特別地域が2箇所、都市公園などが25箇所あります。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
- ◆ 市民の要望 「公園や緑化の充実および維持管理」
「森林や河川を自然公園や憩いの場に」「レクリエーション施設の有効活用」



資源
廃棄物

- ◆ 現状の概要 ごみ排出量は横ばい傾向で、リサイクル率は全国、香川県を上回っています。
- ◆ 総合計画 ごみの排出量、一般廃棄物のリサイクル率に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「ごみのポイ捨て防止」「ごみの野焼きの防止」
「ごみの量の削減・ごみの分別」



市民の
取り組み

- ◆ 現状の概要 市民は環境保全に前向きですが、負担の大きい取り組みが進まない状況です。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
- ◆ 市民の要望 「地球温暖化」「ごみ・リサイクル」「水質汚濁・大気汚染」
「山林の保護」「オゾン層破壊」(市民が重要と考える環境問題)



地域の
取り組み

- ◆ 現状の概要 環境美化活動などの地域の取り組みが盛んです。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
ボランティア活動の全体数の目標があります。
- ◆ 市民の要望 「様々な市民活動への支援」



環境情報
環境教育
など

- ◆ 現状の概要 小学校、中学校では様々な環境教育が行われています。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
- ◆ 市民の要望 「環境汚染の情報」



地球環境

- ◆ 現状の概要 香川県内での温暖化傾向が認められています。
さぬき市では交通と家庭からのCO₂排出量割合が高いです。
- ◆ 総合計画 具体的な目標値はありません。
道路混雑、公共交通機関の利用に関する目標があります。
- ◆ 市民の要望 「バス・電車の利便性の向上」「太陽発電などの設置推進」

【 問題点 】

【 課題 】

- : さぬき市全体に係る課題
- : 一部の地域に関係する課題

- ◆ 常時監視測定局がなく状況把握が不十分
- ◆ バスや電車、コミュニティバスの利便性向上が必要

- 大気の状態を把握できる体制の構築
- 公共交通機関の利便性を向上させる方法の検討
- 交通拠点の利便性の向上

- ◆ 弁天川では、BODが環境基準を超過
- ◆ 全国平均に比べ汚水処理人口普及率が低い
- ◆ 水辺の清掃活動の要望が多い

- 小規模事業場の排水対策の推進
- 下水道整備の推進、合併処理浄化槽の普及推進
- ボランティアなどによる清掃活動の活性化
- 弁天川流域の生活雑排水や事業場排水の対策
- 住宅地域の用水路・排水路の維持管理

- ◆ 騒音調査が行われておらず状況把握が不十分
- ◆ バスや電車、コミュニティバスの利便性向上が必要
- ◆ 農地・畜産からの悪臭の発生

- 騒音の状態を把握できる体制の構築
- 公共交通機関の利便性を向上させる方法の検討
- 肥料の適正管理、家畜の糞尿対策の推進

- ◆ 自然の維持・管理が不十分
- ◆ アクセスが不便な自然公園や景勝地がある
- ◆ 自然公園や景勝地の情報発信が不十分

- 山林の管理体制の構築
- アクセス道路の改善と道路看板の設置
- 自然公園、自然景勝地の情報発信の充実
- 景勝地の特性に合った維持管理と活用法の検討

- ◆ 希少な生物、多様な自然の保護・保全が必要
- ◆ サル・イノシシ・野犬の被害
- ◆ 外来種などの生活、自然への影響
- ◆ 生き物が住みよい川・道路づくりの要望が多い

- 動植物・生態系調査の実施と保全対策の検討
- サル・イノシシ・野犬の被害防止
- 外来種の駆除
- 生き物に優しい事業実施の推進

- ◆ 自然と調和した公園の整備の要望が多い
- ◆ 既存の公園、レクリエーション施設の有効活用

- 自然と調和した公園整備の推進
- 既存施設の有効活用方法の検討
- 公園管理における市民・行政の協力体制の構築
- 住宅地域への公園の整備
- 既設の公園について維持管理の充実と有効活用

- ◆ ごみの減量が進んでいない
- ◆ 山間部や道路沿いなどでごみの不法投棄が多い
- ◆ ごみの野焼きなどの違法行為が多い

- 市民の意識改善やリサイクルの推進
- 違法行為の周知
- 海岸・海域・河川のごみの不法
- 不法投棄禁止の看板の設置や規制の強化
- 海辺の地域のカキ殻の処分方法

- ◆ 生活への負担が大きい取り組みが進まない
- ◆ 15歳以下の方は取り組みに消極的
- ◆ 地球温暖化は最も重要な環境問題として認識

- 実行しやすい取り組みなどの情報発信
- 環境教育の充実
- 地球温暖化に対する取り組みなどの情報発信

- ◆ 様々な市民活動への支援

- 市民活動における市民・行政の協力体制の構築
- 各地域活動での市民・事業者・行政の連携
- 希少野生生物の生息地の保全

- ◆ 環境に関する情報の発信、提供の要望が多い
- ◆ 市の環境への取り組みが知られていない

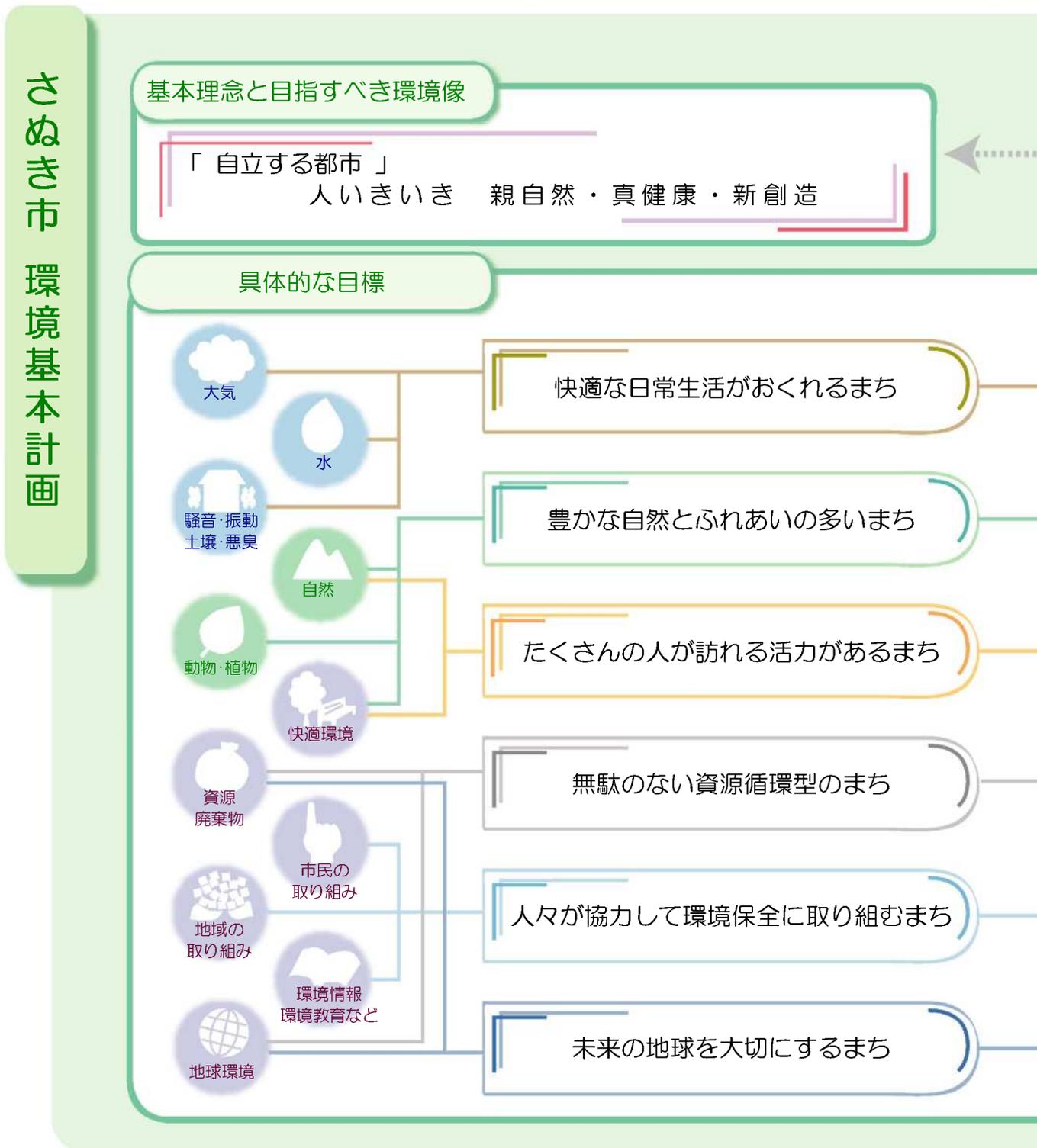
- 環境に関する情報を発信・受信する体制の構築

- ◆ 交通・家庭からのCO₂排出量が多い
- ◆ バスや電車、コミュニティバスの利便性向上が必要
- ◆ CO₂削減に関する具体的な目標がない

- CO₂排出量の削減のための取り組みを紹介
- 公共交通機関の利便性を向上させる方法の検討
- CO₂削減に関する具体的な目標を設定
- 交通拠点の利便性の向上

第4章 さぬき市の目指す環境

本計画の上位計画に当たる総合計画では、個性と活力のあるさぬき市となるため、財政基盤の安定と市民の豊かでいきいきとした暮らしに向け、あらゆる面で自立することを基本としています。そして、産業基盤と都市経営基盤の確立、自主・自立の市民自治の確立を目指すとともに、次代を担う子どもたちが心豊かにたくましく育ち、市民がいきいきと健康で安心して暮らせる地域社会と、健全な環境を守りながら快適に暮らせる地域社会の仕組みづくりを進めることをうたっています。



本計画もこの姿勢を受け継ぎ、基本理念と目指すべき環境像は、総合計画の基本理念「自立する都市」と、目指すべき将来像「人いきいき 親自然・真健康・新創造」を踏襲するものとします。

また具体的な目標として、さぬき市の現状、問題点および課題から、6つのあるべき姿を目指します。この目標には総合計画に具体的方策として挙げられている項目が全て含まれています。

大気環境(騒音・振動含む)・水環境・その他の環境(土壌・悪臭など)の、生活環境の保全を図り、市民が快適に生活できるまちをつくります。

さぬき市の誇れる資産である自然を、将来の子供たちに残すため、自然保全活動の推進、森林の保全、自然に親しむ場の創出を図ります。

さぬき市の重要な観光資源である自然景勝地、自然公園の維持管理の充実を図るとともに、アクセス道路の改善、情報の発信など、有効な活用を推進します。

3R(ごみの発生抑制：Reduce、再使用：Reuse、再生利用：Recycle)の考えのもと、ごみの減量・リサイクルを推進します。

環境情報、環境教育の充実を図るとともに、市民・事業者・行政が連携し、一体となって環境保全に取り組むことのできる体制作りを推進します。

未来の地球のために、地球温暖化、オゾン層破壊など、地球環境問題への取り組みを推進します。エネルギーの有効利用、節電など、省エネルギー型の社会作りを推進します。

基本理念

さぬき市の将来像

具体的方策

環境を保全する
 森林を保全する
 自然に親しむ場をつくる
 廃棄物減量・
 再資源化を進める
 自然保全活動を進める
 環境管理体制をつくる
 環境保全体制をつくる
 環境学習を進める
 エネルギーを有効活用する
 地球温暖化を防止する

さぬき市
総合計画

第5章 目標の実現に向けて ～施策と配慮指針～

5-1 市民・事業者の配慮指針と市の施策



快適な日常生活がおくれるまち

市民・事業者

大気環境(騒音・振動含む)・水環境・その他(土壌・悪臭など)に配慮した生活、事業活動を行いましょう。

できること、やるべきこと

- 低公害車、低燃費車を利用しましょう。
- 事業場から出る煙を適切に管理しましょう。
- 下水道への接続、合併処理浄化槽の設置や維持管理を適切に行い、排水による河川の汚れを防ぎましょう。
- 用水路・排水路の清掃などのボランティア活動に積極的に参加しましょう。
- 農地や畜産からの悪臭の防止につとめましょう。
- 生活や事業活動で発生する音や振動で周りに影響が無いように配慮しましょう。



市(行政)

- 交通利便性を円滑にする道路整備を行います。
- 下水道計画区域における汚水処理、公共下水道整備を行います。
- 下水道整備などが予定されていない区域での浄化槽整備を推進します。
- 水道施設整備や水源地域の環境保全と水質の公表を行います。
- 大気保全・騒音・振動防止・水質汚濁の防止、土壌汚染・有害化学物質による汚染防止などに取り組みます。
- 大気の調査実施や国・県・他団体の調査結果収集など、大気の状態の把握につとめます。
- コミュニティバスの効果的な運行方法を検討します。
- 公用車の低公害車、低燃費車への転換につとめます。
- 河川調査や小規模事業場の排水対策を検討します。
- 市の実施する事業において、自然環境や自然景観との調和に配慮します。
- 市民と協力してボランティアなどによる清掃活動を推進します。



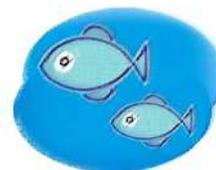
豊かな自然とふれあいの多いまち

市民・事業者

希少な野生生物や自然の生態系に配慮しましょう。
また、生態系に影響を与える外来種、市民の生活に被害を及ぼしている
野生生物(サル・イノシシ・野犬)の対策に協力しましょう。

できること、やるべきこと

- 野外活動は希少な野生生物に配慮して行いましょう。
また、希少種を採取しないよう注意しましょう。
- 生物の移入、輸入、販売にあたっては、専門家へ相談し、
管理を徹底することで、外来種が生態系を乱さないように
注意しましょう。
- サル・イノシシ・野犬の被害防止に協力しましょう。
- 山・河川・海岸の清掃などのボランティア活動に積極的に
参加しましょう。
- 自然観察会などのイベントに積極的に参加しましょう。



市(行政)

- 市民農園を発展させグリーン・ツーリズムとしての農園づくりを行います。
- 荒廃農地の防止や遊休農地の解消など、農地の有効利用を図ります。
- 様々な事業において自然環境や自然景観との調和に配慮します。
- 森林資源の育成と造林事業などによって市有林の適正な整備を行います。
- 動植物・生態系調査の実施と保全対策を検討します。
- サル・イノシシ・野犬被害の防止につとめます。
- 有害な外来種の駆除につとめます。



たくさんの方が訪れる活力があるまち

市民・事業者

公園は公共ルールを守って利用しましょう。
また、さぬき市の財産である自然景勝地を美しく保つための活動や、
たくさんの方が訪れるさぬき市のまちづくりに協力しましょう。

できること、やるべきこと

- ごみや犬の糞の持ち帰りなど、マナーとルールを守って公園を利用しましょう。
- 公園や水辺の清掃活動などのボランティア活動に積極的に参加しましょう。
- グリーンツーリズムなどの活動に積極的に協力しましょう。
- 積極的な緑化や清掃などにより、美しい風景をもったまちづくりに協力しましょう。



市(行政)

- さぬき市の観光資源の再整理や発掘、有効な活用方法について調査・研究を行います。
- 自然・温泉・お寺めぐりなど、多彩な観光ルートの設定を検討します。
- 公園ごとの特色を重視した運営を行います。
- 道の駅の利便性の向上と施設の利用促進を行い観光振興を図ります。
- 河川や海域の環境を保全し、学習や憩いの場として水辺に親しむ環境づくりを図ります。
- 自然公園や景勝地の適切な維持管理を行います。
- 地域活性化に向けて、市南部の広域基幹農道の整備など必要な道路の整備を行います。
- 自然公園や景勝地の情報をHPや雑誌で発信します。
- 観光資源としての自然の活用方法を検討します。



無駄のない資源循環型のまち

市民・事業者

3R(ごみの発生抑制：Reduce、再使用：Reuse、再生利用：Recycle)に取り組みましょう。
ごみの不法投棄、一般家庭での野焼きなどの
違法行為の防止につとめましょう。

できること、やるべきこと

- 買い物袋やエコバックの持参など、ごみの減量につとめましょう。
- フリーマーケットへの参加など、ものの再使用につとめましょう。
- 生ごみの堆肥化や適切なおごみの分別など、ごみの再資源化につとめましょう。
- 環境に影響の少ない製品を購入しましょう。
- ごみのポイ捨てや粗大ごみの不法投棄、野焼きなどの違法行為は絶対やめましょう。



市(行政)

- ごみの発生抑制やリサイクルのさらなる普及促進を図ります。
- 行政・事業者・民間団体・市民の協力体制の充実を図ります。
- 工場や事業所、農業における廃棄物などによる環境汚染の防止を啓発します。
- 不法投棄禁止の看板の設置や規制の強化を行います。
- ごみの不法投棄など違法行為について広く周知します。



人々が協力して環境保全に取り組むまち

市民・事業者

環境について学び、環境保全に関する活動、
自然とふれあえるイベントなどに積極的に参加しましょう。

できること、やるべきこと

- インターネットなどを活用して、環境について学びましょう。
- 子供と環境について話をするなど、家庭での環境教育に取り組みましょう。
- 環境保全に関する活動やイベントに積極的に参加しましょう。
- 自然環境とふれあう余暇の過ごし方をしましょう。
- 環境ボランティア活動や地域のコミュニティ活動に積極的に参加しましょう。
- 市民・事業者・市の情報交換や連携に取り組みましょう。



市(行政)

- さぬき市HPの充実やインターネットによる行政情報の受発信を推進します。
- 市の歴史・地理・統計データなどを一冊の本にまとめた、市内小・中学社会科副読本を活用します。
- 自然体験など、地域での社会教育活動に主体的に取り組むことができるよう社会教育プログラムを作ります。
- 学生・学校関係者・専門家ボランティアなどの協力を得て、学び・創造遊び教室を開催します。
- 自然に関する講演会、自然観察会、調査などにより、幼児期からの自然環境教育を行います。
- 学校教育や生涯学習と連携し、生活の中に主体的に環境保全に取り組む意識を育成します。
- 環境保全情報を提供します。
- 環境保全に積極的に取り組む環境ボランティア団体の活動支援や市民・事業者・行政の連携体制を整備します。



未来の地球を大切にするまち

市民・事業者

未来の地球について考え、地球温暖化防止の活動などに積極的に参加し、地球に優しい暮らしをしましょう。

できること、やるべきこと

- 地球環境問題に関心を持ちましょう。
- 公共交通機関を積極的に利用しましょう。
- 低公害車、低燃費車の利用や、省エネ運転を心がけましょう。
- 新エネルギーの導入につとめましょう。
- 冷暖房や照明、テレビなどの節電、お風呂やシャワーの節水をしましょう。
- 地球温暖化やCO₂削減の取り組みについて学び、できることから取り組みましょう。



市(行政)

- 市役所での省エネルギー活動(クールビズ・ウォームビズなど)を推進します。
- 低公害車、低燃費車やその他機器の導入、新エネルギー導入を検討します。
- 地球温暖化防止や地球環境保全についての啓発活動を推進し、環境ボランティアとの連携強化を図ります。
- CO₂削減を目指し、地球温暖化対策を推進します。
- ISO14001の普及につとめます。

5-2 地域の課題に向けて

さぬき市の問題点と課題、平成20年度環境アンケート、環境基本計画策定委員会の検討結果をもとに、地域の課題と必要な対策について整理しました。市民、事業者、行政で連携して対策に取り組んで行く必要があります。



海岸・海域・河川全域

- 上流からのごみの漂流対策。
→河川へのごみポイ捨て対策を強化する。
- ごみの不法投棄対策を強化する。



市内のため池・河川

- 希少野生生物（ニッポンバラタナゴ）の生息地の保全。

● 交通拠点の整備

- 利便性の良い交通拠点としての整備を推進する。

★ 地域活動の場

- 利用者がくつろぐスペースとしての整備を推進する。
- 市民と行政の連携により、地域活動のさらなる活性化を図る。



アジサイ夢ロード



野間コスモスの里

▲ 公園・自然景勝地

- 情報発信の充実を図る。
- 施設や案内板の見直しなど、観光資源として改善を図る。
- 施設の見直しを検討する。
- 道路アクセスを向上させる。
- 施設の適切な維持管理を行う。



大串自然公園



琴林公園
(津田の松原)



みろく公園



みろく公園 設備



亀鶴公園



門入の郷

▲ 里地里山

- 草刈り、間伐などの里山の管理を行う。
- 市民と行政の連携により、効率的に維持管理を行う体制をつくる。



里地里山
(五瀬山付近)



里地里山
(雨滝山付近)

第6章 効果的な計画の推進に向けて

6-1 計画の推進体制

(1) 市民と事業者と市の基本的な役割

目指すべき環境像の実現に向けて、市民、事業者、市(行政)は以下の基本的役割を果たし、連携、協力して取り組みを進めていく必要があります。



図6-1 市民と事業者と市の基本的な役割

(2) 推進体制

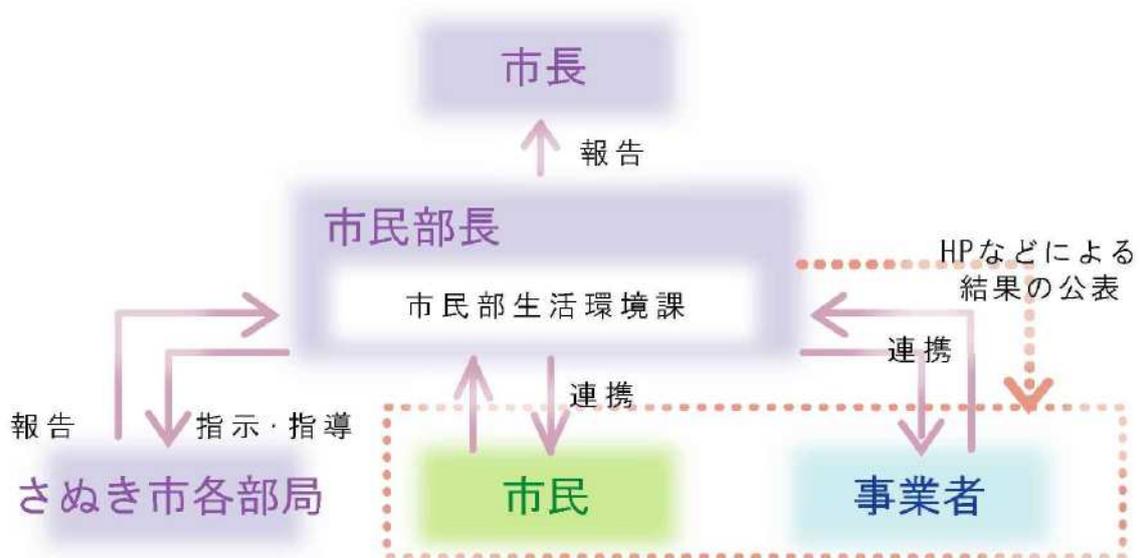


図6-2 環境基本計画の推進体制

6-2 計画の進行管理

(1) 進行管理の方法

計画の実効性を確保するため、環境基本計画の進行管理を実施していく必要があります。

進行管理においては環境マネジメントシステムの考え方を取り入れ、PDCAサイクルに基づく継続的改善を図っていくものとします。

評価、点検、見直しは、環境基本計画の期間に基づいて実施するものとします(第1章 1-3)。

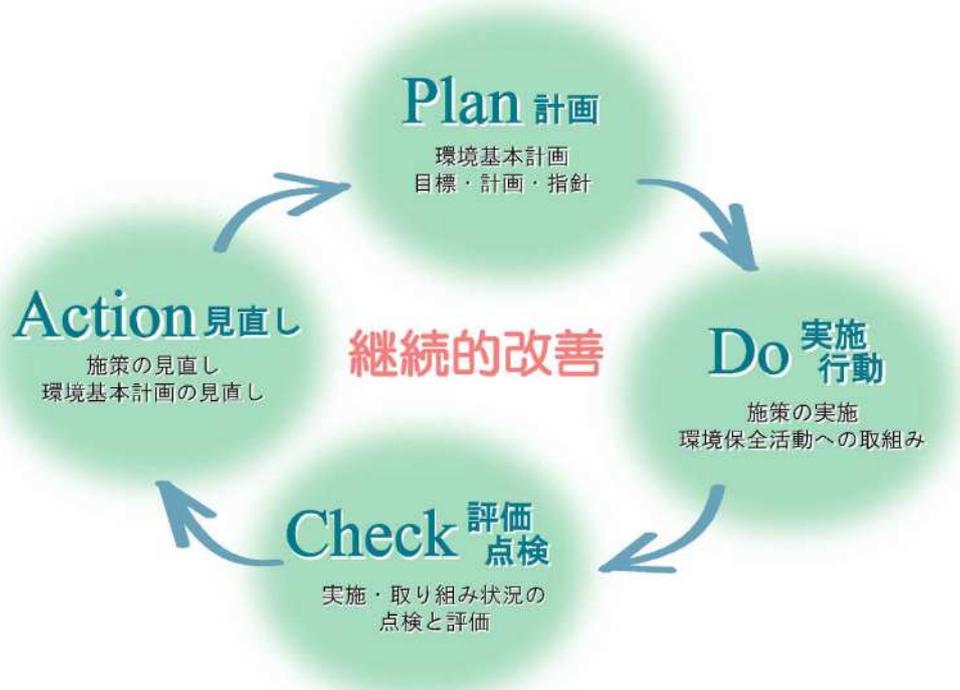


図6-3 環境基本計画の進行管理

(2) 評価の指標

環境基本計画の実施・取り組み状況の点検と評価のための環境指標は下表のとおりとします。

表6-1 さぬき市環境基本計画の環境指標

項目	区分	指標	目標
生活環境	1 大気環境(騒音・振動含む)・水環境・その他(土壌・悪臭など)	コミュニティバス年間乗用人員	172,200人
		弁天川 BOD 汚水処理人口普及率	5.0mg/L 87.0%
自然環境	2 動物・植物・里地里山	都市計画内の人口1人当り 緑地確保面積	30.0m ² /人
その他	3 快適環境(公園・水辺など) 4 資源・廃棄物(エネルギー・資源の循環的利用・廃棄物) その他 5 (地域の取り組み・環境情報・環境教育・地球環境問題など)	年間観光客数	約400万人
		1日1人当りのごみ排出量 一般廃棄物のリサイクル率	約750g 35.0%
		市ホームページアクセス件数 温室効果ガス排出量 ISO14001認証取得事業者数	40万件 6%減(香川県) 6事業所

さぬき市環境基本計画
「自立する都市」 人いきいき 親自然・真健康・新創造

さぬき市 市民部 生活環境課
〒769-2195 香川県さぬき市志度5385番地8
TEL : 087-894-1119 FAX : 087-894-3000
E-mail : seikatsu@city.sanuki.lg.jp